

# Panasonic

## AG-CX350

### 使いこなしポケットブック

ファームウェア Version **3.0** 対応版



AG-CX350 商品ウェブサイト  
接続確認済み機器などの  
最新情報はこちら

## 目次

1. 本機の特長	5
1-1. 記録フォーマットと記録時間	8
1-2. 使用可能なメモリーカード	10
2. 撮影前の準備	11
2-1. 入出力端子	12
2-2. アクセサリー、三脚取付用ネジ穴	13
2-3. 音声の設定	14
2-4. 4チャンネル音声を扱う	15
2-5. ユーザーボタンを使いこなす	17
2-5-1. ユーザースイッチ機能を割り付ける	18
2-5-2. USER ボタンに割り付け可能な機能一覧	19
3. メニュー項目一覧	21
3-1. メニューの種類と開き方	22
<b>[カメラ] メニュー</b>	<b>23</b>
3-1-1. スイッチ	23
3-1-2. オートスイッチ	24
3-1-3. ユーザースイッチ	25
<b>[シーンファイル] メニュー</b>	<b>26</b>
3-1-4. ファイル選択	26
3-1-5. ファイル名編集	26
3-1-6. ロード/セーブ/初期化	26
3-1-7. VFR	26
3-1-8. フレームレート	26
3-1-9. シンクロスキャンタイプ	27
3-1-10. シンクロスキャン	27
3-1-11. マスターディテール	27
3-1-12. ディテールコアリング	27
3-1-13. ディテール設定	27
3-1-14. スキントーンディテール A, B, C	28
3-1-15. スキントーンゼブラ	28
3-1-16. スキントーンディテール設定	28
3-1-17. RB ゲインコントロール設定	29
3-1-18. 色温度 Ach 設定	29
3-1-19. 色温度 Bch 設定	30
3-1-20. クロマレベル	30
3-1-21. クロマ位相	30
3-1-22. マトリックス	30
3-1-23. マトリックス設定	31
3-1-24. カラーコレクション	32
3-1-25. マスターベデスタル	33
3-1-26. RGB ブラックコントロール設定	33
3-1-27. ガンマモード選択	33
3-1-28. ガンマ設定	33
3-1-29. ニー設定	34
3-1-30. ホワイトクリップ設定	34
3-1-31. DRS (Dynamic Range Stretcher: ダイナミックレンジストレッチャー)	34
3-1-32. DRS 効果	34
3-1-33. デジタルノイズリダクション	34
3-1-34. オートアイリスレベル	34

3-1-35. オートアイリスレベル効果.....	34
<b>[音声] メニュー.....</b>	<b>35</b>
3-1-36. 入力設定.....	35
3-1-37. 記録チャンネル設定.....	35
3-1-38. 出力設定.....	36
3-1-39. アラーム.....	36
<b>[映像出力/LCD/VF] メニュー.....</b>	<b>37</b>
3-1-40. 映像出力選択.....	37
3-1-41. SDI 出力.....	37
3-1-42. HDMI 出力.....	38
3-1-43. AV 出力.....	38
3-1-44. SD ダウンコンバート.....	39
3-1-45. LCD.....	39
3-1-46. VF.....	39
3-1-47. LCD/VF HDR.....	39
3-1-48. インジケータ.....	40
3-1-49. マーカー.....	42
3-1-50. フォーカスアシスト.....	42
3-1-51. 露出アシスト.....	43
<b>[記録] メニュー.....</b>	<b>44</b>
3-1-52. メディアフォーマット.....	44
3-1-53. クリップ名.....	44
3-1-54. ファイル分割.....	44
3-1-55. 2 スロット機能.....	44
3-1-56. プリレック.....	44
3-1-57. 記録機能.....	44
3-1-58. TC/UB.....	45
3-1-59. 記録時間カウンター.....	45
3-1-60. タイムスタンプ.....	45
<b>[ネットワーク] メニュー.....</b>	<b>46</b>
3-1-61. デバイス選択.....	46
3-1-62. ネットワーク機能.....	46
3-1-63. IP リモート.....	46
3-1-64. ストリーミング.....	46
3-1-65. NDI HX.....	47
3-1-66. LAN プロパティ.....	47
3-1-67. 無線 LAN プロパティ.....	48
3-1-68. ネットワーク情報.....	49
3-1-69. ユーティリティ.....	49
<b>[システム] メニュー.....</b>	<b>50</b>
3-1-70. システム周波数.....	50
3-1-71. ファイルフォーマット.....	50
3-1-72. 記録フォーマット.....	50
3-1-73. 音声ビット数.....	50
3-1-74. アスペクト比.....	50
3-1-75. スーパースロー.....	50
3-1-76. 撮影モード.....	50
3-1-77. カラー.....	51

[その他] メニュー .....	52
3-1-78. ファイル .....	52
3-1-79 カラーバー .....	52
3-1-80. LED .....	52
3-1-81. 時計 .....	53
3-1-82. USB デバイス .....	53
3-1-83. 本体情報 .....	53
3-1-84. LANGUAGE .....	53
3-1-85. メニュー初期化 .....	53
[オプション] メニュー .....	54
3-1-86. AREA SETTINGS .....	54
4. 機能を使いこなす .....	55
4-1. ライブストリーミング機能(Youtube, Facebook)を使いこなす .....	56
4-2. 映像をモニター/記録する .....	61
4-3. フォーカスアシスト機能を使いこなす .....	62
4-4. デュアルカードスロットを使いこなす .....	63
4-5. マルチカメラ収録用などにタイムコード設定値を同期する .....	64
4-6. リモート操作アプリ(Panasonic CX ROP)を使いこなす .....	65
4-7. V-Log 使用時に露出アシストとしてスポットメーター機能を使いこなす .....	68
4-8. ファームウェアの更新手順 .....	70
5. 画質調整の効果 .....	71
5-1. シーンファイルプリセット一覧 .....	72
5-2. 映像の質感をあやつる(ディテール調整) .....	73
5-3. 基本的なディテールの設定 .....	74
5-3-1. ディテール調整 .....	75
5-3-2. ディテールゲイン(+)(-)調整 .....	75
5-3-3. マスターディテール調整 .....	76
5-3-4. ディテールコアリング調整 .....	77
5-3-5. レベルディペンデント調整 .....	78
5-4. 映像の階調を表現する(ニー、ガンマモード設定) .....	79
5-4-1. ニー調整 .....	79
5-4-2. ガンマモード設定 .....	81
6. 付録 .....	83
6-1. バッテリーによる記録可能時間の目安 .....	84
6-2. シーンファイル設定一覧 .....	85
6-3. 外部出力時の出力解像度一覧(SDI) .....	87
6-4. 外部出力時の出力解像度一覧(HDMI) .....	88
6-5. ストリーミングフォーマット(RTMP 形式)について .....	89
6-6. ストリーミングフォーマット(NDI   HX 形式)について .....	91
6-7. エラー、ワーニングシステム .....	92
6-8. 付属品、純正アクセサリ品番のご紹介 .....	96
6-9. 定格 .....	98
6-10. 外形寸法 .....	103

# 1. 本機の特長

AG-CX350

## 広角 24.5mm 光学 20 倍ズーム+ iズーム



ワイド端を使用した室内撮影イメージ

業界最広角級のワイド端 24.5mm<sup>※1</sup>、コンバージョンレンズなしで歪みの少ない広角撮影を実現します。光学 20 倍ズームは全モードで望遠 490mm までカバー。さらに i ズームにより HD 時 32 倍、UHD 時 24 倍まで、解像度を保ったままです。またテレ端からシームレスなズームアップが可能です。

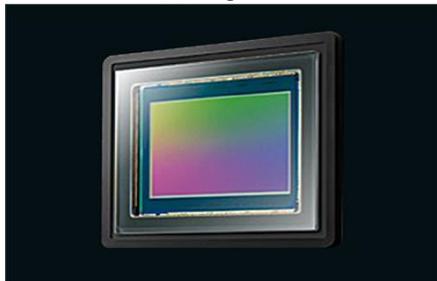
また 2/5/10 倍のデジタルズーム<sup>※2</sup>も搭載しています。

※1 35mm 換算値。UHD/FHD(16:9)で、業界最広角 24.5mmを実現。レンズ一体型カムコーダーの業界最広角は当社製 AG-UX180 で 24mm を実現。UHD/24p 時: 24.0 mm(17:9 アスペクト比)、UHD/FHD: 25.4 mm(16:9 アスペクト比)。(2019 年 1 月現在、当社調べ)

※2: デジタルズームは倍率が高くなるほど画質が劣化します。

## 高精細・高感度の 1.0 型 15 メガ MOS センサー

適度の被写界深度、画質と感度のバランスのとれた 1.0 型 MOS センサー(有効約 1,503 万画素)を搭載。UHD(3840×2160)/FHD/HD/SD マルチフォーマットに対応し、全領域でクロップなしかつ F12(60 Hz)、F13(50 Hz)の高感度(High Sens 時、UHD/FHD 両モード)を実現しています。



## RTMP/RTSP/RTMPS 対応 HD ストリーミング配信 (P.56)



記録しながら HD ストリーミング出力可能。ストリーミング方式は RTSP に加えて RTMP/RTMPS をサポート。Facebook、YouTube など多くのストリーミングサービスに対応します。コンサートやスポーツイベントの実況中継、ニュース速報などのストリーミング配信が可能です。

※設定内容などの詳細は、4-1. ライブストリーミング機能 (Youtube, Facebook) を使いこなす (P.56) を参照ください。

## タブレット/スマートフォンからのワイヤレスコントロール (P.65)

タブレット/スマートフォンアプリ※1 (App Store、Google Play から無償提供) からワイヤレスリモートコントロールが可能です。ズーム、iZOOM、フォーカスのレンズコントロールに加え、カメラ設定・調整、REC スタート/ストップ、メニュー設定など多機能のリモート操作が可能です。さらに最大 8 台のカメラを切り替えてコントロールできます。※2



※画面はめ込み合成です。



# CX ROP



※1: iPad/iPhone 用: iOS 9 以上対応。アンドロイド端末用: Android 5.0 以上対応。Wi-Fi ドングル (別売) が必要です。

※2: 複数カメラの同時・同期制御には対応していません。カメラの切り替えには数秒間かかります。

## SDI・HDMI 同時出力

SDI と HDMI に同時出力が可能。HDMI から UHD、SDI から HD を 10 ビット 4:2:2 の高画質で出力。さまざまな用途に対応します。

HLG 撮影時、SDI/HDMI/LCD の各出力映像のカラー設定を HDR/SDR で独立して切り替えて出力することが可能です。

## 1-1. 記録フォーマットと記録時間

	記録フォーマット	サンプリング	ファイル形式	フレーム数	音声	記録時間 (64GB)	
UHD 3840x2160	HEVC Long GOP 200M	4:2:0 10bit	MOV (HEVC)	59.94p, 50p	24 bit LPCM 4ch	40m	
	HEVC Long GOP 150M	4:2:0 10bit	MOV (HEVC)	29.97p, 25p, 23.98p		55m	
	HEVC Long GOP 100M	4:2:0 10bit	MOV (HEVC)	59.94p, 50p		1h20m	
	422ALL-I 400M	4:2:2 10bit	MOV (AVC)	29.97p, 25p, 23.98p		20m	
	422LongGOP 150M	4:2:2 10bit	MOV (AVC)	29.97p, 25p, 23.98p		55m	
	420LongGOP 150M	4:2:0 8bit	MOV (AVC)	59.94p, 50p		55m	
	420LongGOP 100M	4:2:0 8bit	MOV (AVC)	29.97p, 25p, 23.98p		1h20m	
FHD (1080p, 1080i, 720p)	AVC-Intra200 (200M, 1080i)	4:2:2 10bit	MXF (OP-ATOM)	59.94i, 50i	24 bit LPCM 4ch	32m	
	AVC-Intra200 (200M, 720p)	4:2:2 10bit	MXF (OP-ATOM)	59.94p, 50p		32m	
	AVC-Intra100 (100M, 1080p)	4:2:2 10bit	MXF (OP-ATOM)	59.94p, 50p	24/16 bit LPCM 4ch	32m	
	AVC-Intra100 (100M, 1080i)	4:2:2 10bit	MXF (OP-ATOM)	59.94i, 50i		64m	
	AVC-Intra100 (100M, 720p)	4:2:2 10bit	MXF (OP-ATOM)	59.94p, 50p		64m	
	AVC-Intra50 (50M, 1080i)	4:2:0 10bit	MXF (OP-ATOM)	59.94i, 50i		128m	
	AVC-Intra50 (50M, 720p)	4:2:0 10bit	MXF (OP-ATOM)	59.94p, 50p		128m	
	AVC-Intra422 (200M)	4:2:2 10bit	MXF (OP1b)	59.94p, 50p		24 bit LPCM 4ch	32m
	AVC-LongG50 (50M, 1080i)	4:2:2 10bit	MXF (OP1b)	59.94i, 50i	2h08m		
	AVC-LongG50 (50M, 720p)	4:2:2 10bit	MXF (OP1b)	59.94p, 50p	2h08m		
	AVC-LongG25 (50M, 1080p)	4:2:2 10bit	MXF (OP1b)	59.94p, 50p	2h08m		
	AVC-LongG25 (25M, 1080i)	4:2:2 10bit	MXF (OP1b)	59.94i, 50i	4h16m		
	AVC-LongG25 (25M, 720p)	4:2:2 10bit	MXF (OP1b)	59.94p, 50p	4h16m		
	AVC-LongG12 (24M, 1080p)	4:2:0 8bit	MXF (OP1b)	59.94p, 50p	16 bit LPCM 4ch		4h00m
	AVC-LongG12 (12M, 1080i)	4:2:0 8bit	MXF (OP1b)	59.94i, 50i			8h00m
	AVC-LongG12 (12M, 720p)	4:2:0 8bit	MXF (OP1b)	59.94p, 50p		8h00m	

## 1-1. 記録フォーマットと記録時間(つづき)

記録フォーマット	サンプリング	ファイル形式	システム周波数	音声	記録時間 (64GB)	
FHD (1080p, 1080i)	422ALL-I 200M	4:2:2 10bit	MOV (AVC)	59.94p, 50p	24 bit LPCM 4ch	40m
	422ALL-I 100M	4:2:2 10bit	MOV (AVC)	29.97p, 25p, 23.98p, 59.94i, 50i		1h20m
	422LongGOP 100M	4:2:2 10bit	MOV (AVC)	59.94p, 50p		1h20m
	422LongGOP 50M	4:2:2 10bit	MOV (AVC)	29.97p, 25p, 23.98p, 59.94i, 50i		2h40m
	PS 25Mbps	4:2:0 8bit	AVCHD	59.94p, 50p	Dolby Audio 2ch	5h20m
	PH 21Mbps	4:2:0 8bit	AVCHD	23.98p, 59.94i, 50i		6h00m
	HA 17Mbps	4:2:0 8bit	AVCHD	59.94i, 50i		8h30m
HD	PM 8Mbps	4:2:0 8bit	AVCHD	59.94p, 50p	17h10m	
SD	SA 9Mbps	4:2:0 8bit	AVCHD	59.94i, 50i	16h00m	

## 1-2. 使用可能なメモリーカード

記録するフォーマット、ビットレートなどに応じて、必要となるメモリーカードの種類(対応スピード)が異なります。以下に具体的内容を示します。

フォーマット	使用可能なメモリーカード規格	記録ビットレートおよび記録モード	最低限必要なスピードクラス		
			Speed class	UHS Speed class	Video Speed class
MOV		400Mbps	--	--	<b>V60</b>
		FHD VFR(23.98p)/SUPER SLOW ALL-I (バリエアブルフレームレート記録/スーパー slows 記録)			
		200Mbps			
	 (64GB)	150Mbps	--	<b>U3</b>	<b>V30</b>
		100Mbps			
		FHD VFR(59.94p, 50.00p, 29.97p, 25.00p), ALL-I (バリエアブルフレームレート記録)			
		FHD VFR/SUPER SLOW LongGOP (バリエアブルフレームレート記録/スーパー slows 記録)			
50Mbps	<b>U10</b>	<b>U1</b>	<b>V10</b>		
AVCHD	  	PS, PH, HA, PM, SA	<b>U4</b>	--	--
P2		AVC-Intra422, AVC-LongG AVC-Intra200/100/50	--	--	--

\*microP2 カードは P2 機器用の記録用に開発された SD メモリーカードと同寸法のメモリーカードです。SDXC カードへ P2 形式で記録することは可能ですが、サポート対象外となりますのでご注意ください。

## 2. 撮影前の準備

AG-CX350

## 2-1. 入出力端子

映像出力(HDMI, SDI)は、設定によって解像度などが変化します。

具体的詳細は、6-3. 外部出力時の出力解像度一覧(SDI)P.87 -88)を参照ください。

本体後面



## 2-2. アクセサリ、三脚取付用ネジ穴

本機は底面の三脚用ねじ穴に加え、ワイアレス音声レシーバーなどのアクセサリを装着するための多目的ネジ穴を本体後方側面に設けています。

本体底面(三脚取付用):ねじ長さは 5.5mm 以下をご使用ください。



本体後方側面(アクセサリ固定用):標準付属ねじサイズ:M3、長さは 6mm 以下をご使用ください。



## 2-3. 音声の設定

本機は本体内蔵のステレオマイクおよび外部音源を接続し、4 系統の音声収録が可能です。外部音源については、ライン入力レベルまたはマイク入力レベルの感度が選択可能です。

### 音声設定手順

#### 1. 音源の接続

本機内蔵のマイクを使用せず、外部の音源を使用する場合は XLR(AUDIO INPUT1, INPUT2) 端子にマイク(またはミキサーなどのラインレベル音源)を接続します。

#### 2. [A] 音声ソースの選択(CH1 SELECT, CH2 SELECT スイッチ)

CH1, CH2 の音源を設定します。例: INPUT1(フロントのマイク端子)に接続した音源を使用する場合は、INPUT1 を選択。内蔵マイクを使用する場合は INT(L)または INT(R)を選択します。

#### 3. [B] 入力レベルの設定(INPUT1, INPUT2 スイッチ:内蔵マイク使用時は不要)

接続した音源(+48V 給電が必要なマイク、+48V 給電が不要なマイク、ライン入力)に応じて INPUT1, INPUT2 スイッチにて入力レベルを選択します。LINE, MIC 設定それぞれの入力レベルは、MENU > 音声 > 入力設定にて設定が可能です。

#### 4. [C] 記録音声レベルの調整

AUDIO LEVEL ツマミにて記録音量を調節します。MENU > 音声 > 記録チャンネル設定 > CH1 レベル/CH2 レベル をマニュアルに設定しているときに調整が有効になります。

#### 入力レベルの設定(MENU>音声>入力設定)

メニュー項目	設定
ライン入力 1	4dB, <u>0dB</u>
ライン入力 2	4dB, <u>0dB</u>
マイク入力 1	-40dB, <u>-50dB</u> , -60dB
マイク入力 2	-40dB, <u>-50dB</u> , -60dB



[B] [A] [C]

#### 音声設定例:

INPUT1 に+48V 給電必要なコンデンサマイクを接続し INPUT2 は内蔵マイクを使用する場合

	CH1	CH2
(A) CH SELECT スイッチ	INPUT1	INT(R)
(B) INPUT スイッチ	+48V	任意の場所 (*)

\* 内蔵マイク選択時は機能しません。

## 2-4. 4 チャンネル音声を扱う

音声チャンネル 3 および 4 の音声ソースは、音声チャンネル 1, 2 の設定内容に従って決定されます。(AVCHD 記録時、音声チャンネル 3,4 は記録されません。) 具体的内容は、下表を参照ください。



CH1 SELECT	CH2 SELECT	記録/出力される音声のソース			
		CH1	CH2	CH3	CH4
INT (L)	INT (R)	内蔵マイク (L)	内蔵マイク (R)	AUDIO INPUT1 端子	AUDIO INPUT2 端子
	INPUT1		AUDIO INPUT1 端子		内蔵マイク (R)
	INPUT2		AUDIO INPUT2 端子		
INPUT1	INT (R)	AUDIO INPUT1 端子	内蔵マイク (R)	内蔵マイク (L)	AUDIO INPUT2 端子
	INPUT1		AUDIO INPUT1 端子		内蔵マイク (R)
	INPUT2		AUDIO INPUT2 端子		
INPUT2	INT (R)	AUDIO INPUT2 端子	内蔵マイク (R)	内蔵マイク (L)	AUDIO INPUT2 端子
	INPUT1		AUDIO INPUT1 端子		内蔵マイク (R)
	INPUT2		AUDIO INPUT2 端子		

音声ソース選択パターンとチャンネルごとに記録/出力される音声の組み合わせ

### 4 チャンネル音声を含むクリップの互換再生について

4 チャンネル音声を含むクリップは、4 チャンネル音声記録再生機能に未対応のバージョン(Ver.1.x)では右図のようなサムネール表示となり再生できませんのでご注意ください。



**NOTE: MENU > 音声 > 入力設定 > マイク入力の設定方法について**

マイク入力 1, マイク入力 2 メニュー項目は、使用するマイクの感度に応じて設定できるよう  
-40dB, -50dB, -60dB から設定を変更可能です。

ご使用になるマイクの感度を確認のうえ、最も近い数値をこのメニュー項目で選択します。

以下は、Panasonic 製マイクロフォン(機種形式:AG-MC200)の例です。本マイクロフォンは  
感度が-40dB ですが、本機のマイク入力項目は-50dB に設定されることを推奨します。

## 定 格

電源： ファントム電源 48 V  
消費電流： 2.0 mA (標準)

     は安全項目です。

型式：

バックエレクトレットコンデンサー型

周波数特性：

160 Hz ~ 20 kHz

感度：

- 40 dB  $\pm$  3.5 dB (0 dB=1 V/Pa, 1 kHz)

最大入力音圧レベル：

127 dB S.P.L. (1 kHz, 1%歪み)

S/N比 (1 kHz/Pa)：

69 dB 以上

出カインピーダンス：

100  $\Omega$   $\pm$  30% (1 kHz)

例: Panasonic 製マイクロフォン AG-MC200 の定格表示

## 2-5. ユーザーボタンを使いこなす

本体に装備された7つの USER ボタンおよび液晶モニターへ表示される5つのボタンへ、予め用意された機能をひとつずつ割り付けることができます。

	F1:	F2:	F3:	F4:	F5:	F6:
		FLUO.	SPARK	B. STR	CINE	HLG
USER 8	IR REC					
USER 9	FOCUS MACRO					
USER10	AREA					
USER11	ATW LOCK					
USER12	MENU					



### 現在割り付けられている機能を確認するには？

DISP/MODE CHK ボタンを1秒以上押します(詳しいモード表示になります)。その後このボタンを3回押すことで、現在割り付けられている機能の一覧を確認可能です。



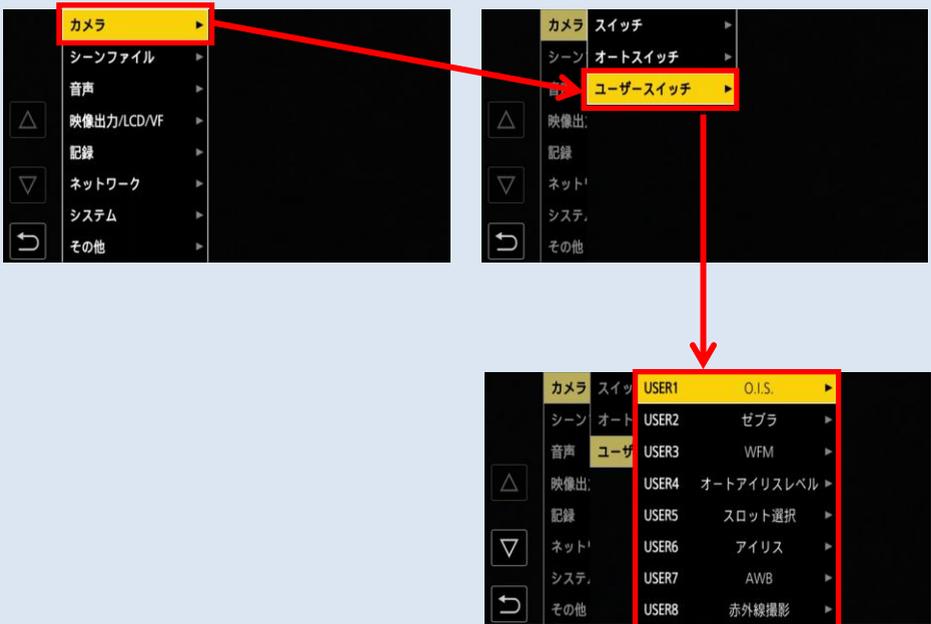
DISP/MODE CHK ボタン

-- USER SW --	-- OTHER ASSIGN --
1: O. I. S.	GAIN L: 0dB
2: ZEBRA	M: 6dB
3: WFM	H: 12dB
4: A. IRIS LEVEL	S. GAIN: 36dB
5: SLOT SEL	
6: IRIS	WHITE BAL
7: AWB	A: 4600K
	B: 3200K
	PRST: 3640K VAR

USER ボタンへ割り付けられた機能一覧表示の例

## 2-5-1. ユーザースイッチ機能を割り付ける

MENU > カメラ > ユーザースイッチ > 任意の USER ボタンへ任意の機能を割り付ける。



## 2-5-2. USER ボタンに割り付け可能な機能一覧

(Ⓞ)：本体をスタンバイにすると、次回電源を入れた時に無効になる機能

項目名	機能
無効	その USER ボタンを無効(何も割り付けない)にします。
AWB	オートホワイトバランスを ON/OFF します。
DRS	高輝度部分の映像レベルをコントラストを保ちながら圧縮することでダイナミックレンジを拡大する DRS 機能を ON/OFF します。
(Ⓞ) FBC	フラッシュバンド補正機能を ON/OFF します。
ワンプッシュ AF	PUSH AUTO ボタンを押したときと同様、ボタンを押している間のみ AF 機能を働かせます。
(Ⓞ) スーパーゲイン	ゲインを 24dB 以上にします。
(Ⓞ) エリア	内蔵 LCD 画面上の任意の位置をタッチしてアイリスやフォーカスを合わせる機能を ON/OFF します。
(Ⓞ) AF エリア	オートフォーカスのための主参照範囲を設定する機能を ON/OFF します。
ATW	ATW(自動追尾ホワイトバランス)機能を ON/OFF します。
(Ⓞ) ATW ロック	オートトラッキングホワイトバランスの値を固定します。再度押すとオートトラッキングホワイトバランスが動作を再開します。オートトラッキングホワイトバランスが動作しているときに有効です。
(Ⓞ) スポットライト	スポットライト用のオートアイリス制御機能の有効/ 無効を切り替えます。
(Ⓞ) 逆光補正	逆光補正用のオートアイリス制御機能の有効/ 無効を切り替えます。
オートアイリスレベル	オートアイリスレベル機能の有効/ 無効を切り替えます。
アイリス	オートアイリスとマニュアルアイリスを切り替える機能を割り当てます。
(Ⓞ) Y GET	輝度レベルを表示する機能を割り当てます。
フォーカスマクロ	フォーカスマクロの設定を切り替えます。
O.I.S.	手ぶれ補正機能の有効/ 無効を切り替えます。
O.I.S.モード	手振れ補正機能の動作モード(標準、パン/チルト、固定)を選択します。
i.ZOOM	画質劣化の少ないズーム機能を割り当てます。
(Ⓞ) デジタルズーム	デジタルズームの有効/ 無効を切り替え。ボタンを押すごとに、画角をx2、x5、x10の順にズームします。
赤外線撮影	IR 撮影の有効/ 無効を切り替えます。
(Ⓞ) 高速ズーム	ズームレバーを最後まで押し込んだときにズーム速度が速くなります。
アダプティブマトリクスブリレック	青色 LED 照明下での色つぶれを緩和する設定。
VFR	バリエアブルフレームレート記録機能の有効/ 無効を切り替えます。
スーパースロー	スーパースロー記録機能の有効/ 無効を切り替えます。
レックチェック	直前に撮影したクリップの最後の約3秒間を自動的に再生します。
バックグラウンド記録停止	バックグラウンド記録モード(詳細 P. 63)を停止します。
最終クリップ削除	直前に撮影したクリップを削除します。
スロット選択	記録するメモリーカードを挿入しているカードスロットを選択します。

## 2-5-2. USER ボタンに割り付け可能な機能一覧(つづき)

(Ⓞ)：本体をスタンバイにすると、次回電源を入れた時に無効になる機能

項目名	機能
音声 CH1 レベル	音声チャンネル 1 の記録レベル調整方法(オート、マニュアル)切換
音声 CH2 レベル	音声チャンネル 2 の記録レベル調整方法(オート、マニュアル)切換
(Ⓞ) 拡大表示	拡大表示機能(フォーカスアシスト機能)の有効/ 無効を切り替えます。
(Ⓞ) ピーキング	ピーキング表示(フォーカスアシスト機能)の有効/ 無効を切り替えます。
(Ⓞ) WFM	ウェーブフォームモニターの表示を切り替えます。波形表示は、[映像出力 / LCD / VF] メニュー→[露出アシスト]→[WFM モード]で選択します。
ゼブラ	ゼブラ/パターンの表示/ 非表示を切り替えます。
水準器	水準器の表示/ 非表示を切り替えます。水平/垂直方向に各30° ずつ。
水準器設定	現在の水平方向と垂直方向を水準器の基準値として設定します。
LCD/VF HDR	液晶モニターとビューファインダーの出力イメージについてハイダイナミックレンジ/ スタンダードダイナミックレンジを切り替えます。
LCD/VF V-Log	液晶モニターとビューファインダーの出力イメージについてV-Log / V-709を切り替えます。
(Ⓞ) VF 入/ 切	ビューファインダーに映像を強制的に表示させます。
LCD/VF デテール	フォーカスを合わせやすくするためにビューファインダー映像と液晶モニター映像の輪郭を強調します。
モニター音声選択	AV OUT,ヘッドホン, 内蔵スピーカーから出力する音声の選択
音声出力	AV OUT,ヘッドホン, 内蔵スピーカーから出力するチャンネルの選択
メニュー	メニューの表示/ 非表示を切り替えます。
セットアップファイルロード	メモリーカードに保存されたセットアップファイルを本機に読み込みます。
LCD バックライト	液晶モニターの明るさを切り替えます。ボタンを押すごとに、[0]、[1]、[2]、[-1]の順に切り替わります。
(Ⓞ) カードリーダーモード	カードリーダーモード機能(USB マスストレージ機能)のON/OFF
(Ⓞ) ストリーミング開始	本機からのストリーミング配信の開始/ 停止を切り替えます。

### 3. メニュー一項目一覽

AG-CX350

### 3-1. メニューの種類と開き方

本機では、次の2種類のメニュー階層を備えています。

メニュー種類	主な用途	開き方
メニュー	各種設定を変更できます。使用頻度や設定頻度に応じて、カテゴリー別に階層化されています。	MENU ボタンを押すと表示します。
オプションメニュー	将来的な機能追加などを考慮したメニューを準備しています。	EXIT ボタン + MENU ボタンを押すと表示します。



#### メニュー

- カメラ(感度、シャッターなどカメラ機能の設定) [P.23]
- シーンファイル(画質や画づくりに関する設定) [P.26]
- 音声(入力感度など音声関連の設定) [P.35]
- 映像出力/LCD/VF(SDI, HDMI など映像出力に関する設定) [P.37]
- 記録(TC、赤外線記録、プリ REC の記録設定など) [P.44]
- ネットワーク(LAN 接続やストリーミングに関する設定) [P.46]
- システム(記録フォーマットの設定など) [P.50]
- その他(ユーザーファイルの書き込み、本体の初期化など) [P.52]

#### オプションメニュー

- AREA SETTINGS(地域別の設定) [P.54]

## [カメラ] メニュー

## 3-1-1. スイッチ

項目	内容	設定値 ( <u> </u> は初期値)
LOW ゲイン	GAIN スイッチの L 位置に割り当てるゲインを設定	-3dB -- <u>0dB</u> -- +18dB (ISO400 -- <u>ISO800</u> -- ISO12800)
MID ゲイン	GAIN スイッチの M 位置に割り当てるゲインを設定	-3dB -- <u>6dB</u> -- +18dB (ISO400 -- <u>ISO1600</u> -- ISO12800)
HIGH ゲイン	GAIN スイッチの H 位置に割り当てるゲインを設定	-3dB -- <u>12dB</u> -- +18dB (ISO400 -- <u>ISO3200</u> -- ISO12800)
スーパーゲイン	USER ボタンに割り当てるスーパーゲイン値を設定	24dB, 30dB, <u>36dB</u> , 全て *[全て]選択時は、USER ボタンを押すごとに 24,30,36dB を順(トグル)に選択可能
ゲイン/ISO モード	ゲイン値の表示単位を切り換	<u>dB</u> , ISO
O.I.S	光学式手振れ補正のオン、オフ	<u>入</u> , 切 (USER ボタン割付可能)
ハイブリッド O.I.S	光学式、電子式を併用した、より強い手振れ補正機能のオン、オフ	<u>入</u> , 切
O.I.S モード	手振れ補正の動作モードを切り替え	<u>標準</u> パン/チルト:パンチルトを多用する場合に適した設定 固定:構図を固定して撮影する場合に適した設定
ATW	オートトラッキング(自動追尾)ホワイトバランス機能の WHITE BAL スイッチへの割り付け。	Ach, Bch, <u>プリセット</u> , 切
ATW 速度	ATW 機能の制御速度を設定	高速, <u>標準</u> , 低速
ATW ターゲット R	ATW 動作で収束したときに赤の出力を微調整。	-10 -- <u>0</u> -- 10
ATW ターゲット B	ATW 動作で収束したときに青の出力を微調整。	-10 -- <u>0</u> -- 10
W.BAL プリセット	WHITE BAL スイッチの PRST 位置に割り付ける色温度の設定	<u>3200K</u> , 5600K, VAR
ハンドルズーム速度	ハンドルズームのズーム速度を設定	1 -- <u>50</u> -- 99
i.ZOOM	画質を維持したデジタルズーム機能のオン、オフ	入, <u>切</u>
MF アシスト	マニュアルフォーカス時、フォーカス調節の後に自動で微調整を行います。	入, <u>切</u>
フォーカスマクロ	フォーカスマクロ機能のオン、オフ	入, <u>切</u> (USER ボタン割付可能)

## [カメラ] メニュー

## 3-1-1. スイッチ(つづき)

項目	内容	設定値( <u>  </u> は初期値)
AF エリア幅調整	オートフォーカスが有効になるエリアの幅を被写体のサイズに合わせて調整	入, <u>切</u>
オートアイリス速度	オートアイリスの制御速度を設定	高速, <u>標準</u> , 低速
オートアイリスウインドウ	オートアイリス制御のための明るさ検出をする領域を設定	標準 1: 画面中央寄りにウインドウを設定 標準 2: 画面下寄りにウインドウを設定 中央: 画面センターのスポットにウインドウを設定
エリアモード	撮影時に液晶画面をタッチして選択した領域内で行う機能の設定	<u>無効</u> フォーカス アイリス Y GET (輝度表示機能) フォーカス/アイリス(フォーカス、アイリスの同時動作) フォーカス/Y GET(フォーカス、Y GET の同時動作)
赤外線撮影	赤外線(IR)撮影機能のオン、オフ	入, <u>切</u>

## 3-1-2. オートスイッチ

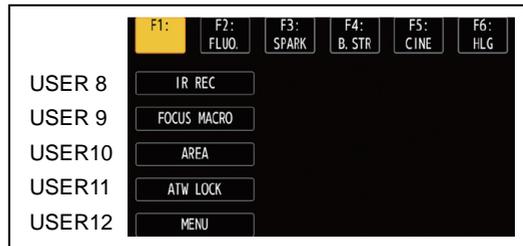
オート撮影モード時に機能させる項目を選択します。

項目	設定値( <u>  </u> は初期値)
オートアイリス	入, <u>切</u>
AGC (Auto Gain Control: カメラゲインの自動調整)	入, <u>切</u>
AGC リミット (AGC 動作時の最大ゲイン値の設定)	3dB, <u>6dB</u> , 12dB, 18dB
AGC ポイント (オート撮影モード時にオートアイリスから AGC に切り替える F 値を設定)	<u>F4.0</u> , F5.6
オートシャッター	入, <u>切</u>
オートシャッターリミット (オートシャッター動作時の最大シャッター速度の設定)	1/100, 1/120, <u>1/250</u>
オートシャッターポイント (オート撮影モード時にオートアイリスからオートシャッターに切り替える F 値を設定)	<u>F8.0</u> , F9.6
ATW (Auto Tracking White balance: 自動追尾ホワイトバランス調整)	入, <u>切</u>
オートフォーカス	入, <u>切</u>

## [カメラ] メニュー

## 3-1-3. ユーザースイッチ

項目	初期値	内容
USER 1	O.I.S	<p>本体および内蔵 LCD タッチパネルに装備された合計 12 の USER ボタンへ予め用意された機能をひとつずつ割り付けることができます。</p> <p>詳細は、 2-5. ユーザーボタンを使いこなす(P.17)を参照ください。</p>
USER 2	ゼブラ	
USER 3	WFM	
USER 4	オートアイリスレベル	
USER 5	スロット選択	
USER 6	アイリス	
USER 7	AWB	
USER 8	赤外線撮影	
USER 9	フォーカスマクロ	
USER 10	エリア	
USER 11	ATW ロック	
USER 12	メニュー	



## [シーンファイル] メニュー

## 3-1-4. ファイル選択

項目	内容	設定値( __ は初期値)
ファイル選択	シーンファイルの選択	F1: 多目的に使用可能な通常設定 F2:FLUO 蛍光灯下の屋内で最適な設定 F3:SPARK 鮮やかでハッキリした画質設定 F4:B.STR 暗部を際立たせた設定 F5:CINE フィルムの質感を再現した設定 F6:HLG ハイダイナミックレンジ HLG 規格の設定

\* 各シーンファイル設定の設定値一覧は、P.85 を参照ください。

## 3-1-5. ファイル名編集

項目	内容	設定値( __ は初期値)
ファイル名編集	シーンファイルの名称を編集	最大 8 文字

## 3-1-6. ロード/セーブ/初期化

項目	内容	設定値( __ は初期値)
ロード/セーブ/ 初期化	本体内蔵メモリーに保存されたシーンファイルデータの呼び出し、保存、工場出荷状態への初期化	ロード, セーブ, 初期化

## 3-1-7. VFR

項目	内容	設定値( __ は初期値)
VFR	可変速記録(バリアブルフレームレート:VFR)のオン、オフを選択	入, 切

## 3-1-8. フレームレート

項目	内容	設定値( __ は初期値)
フレームレート	VFR が入の時のフレームレート(1 秒当たりのコマ数、単位: fps)を設定	システムメニュー → システム周波数 → 59.94Hz 60, 54, 48, 44, 40, 36, 34, 32, 30, 28, 27, 26, 25, 24, 22, 21, 20, 18, 15, 12, 9, 6, 4, 2, 1  システムメニュー → システム周波数 → 50.00Hz 50, 48, 45, 42, 37, 34, 32, 30, 28, 27, 26, 25, 24, 23, 22, 21, 20, 18, 15, 12, 9, 6, 4, 2, 1

## [シーンファイル] メニュー

## 3-1-9. シンクロスキャンタイプ

項目	内容	設定値( __ は初期値)
シンクロスキャンタイプ	シンクロスキャン時の表示方法の選択	秒, 角度

## 3-1-10. シンクロスキャン

項目	内容	設定値( __ は初期値)
シンクロスキャン	テレビ画面を撮影するときなどに使用するシンクロスキャンシャッターの速度を表示	シンクロスキャンタイプ設定が「秒」でシステム周波数が59.94Hz 時 59.94i, 59.94p : 1/60.0 - 1/7200 29.97p : 1/30.0 - 1/7200 23.98p : 1/24.0 - 1/7200 シンクロスキャンタイプ設定が「秒」でシステム周波数が50.00Hz 時 50i, 50p : 1/50.0 - 1/7200 25p : 1/25.0 - 1/7200 シンクロスキャンタイプ設定が「角度」の時 3.0d - 360.0d

## 3-1-11. マスターディテール

項目	内容	設定値( __ は初期値)
マスターディテール	全体的なディテール(輪郭補正)の強さを設定	-31 - <u>0</u> - 31

## 3-1-12. ディテールコアリング

項目	内容	設定値( __ は初期値)
ディテールコアリング	ディテール効果を効かせない範囲(映像レベル)の設定	0 - <u>15</u> - 60

## 3-1-13. ディテール設定

項目	内容	設定値( __ は初期値)
ディテール	ディテール(輪郭補正)機能のオン、オフ	<u>入</u> , 切
V ディテールレベル	垂直方向の輪郭補正の強さを設定	-7 - <u>0</u> - 7
ディテールフリクエンシー	強調する輪郭の幅を調整。数値を多くするほど被写体の輪郭感が増します。	-7 - <u>0</u> - 7
レベルディペンデント	一定レベル以下の映像信号について輪郭補正の強さを設定(暗部の輪郭補正効果を調整)	-7 - <u>0</u> - 7
ニーアパーチャレベル	高輝度部に対する輪郭補正量を設定	-7 - <u>2</u> - 7
ディテールゲイン(+)	映像レベルの高い(明るい)方向の輪郭補正量を設定	-31 - <u>0</u> - 31
ディテールゲイン(-)	映像レベルの低い(暗い)方向の輪郭補正量を設定	-31 - <u>0</u> - 31

## [シーンファイル] メニュー

## 3-1-14. スキントーンディテール A, B, C

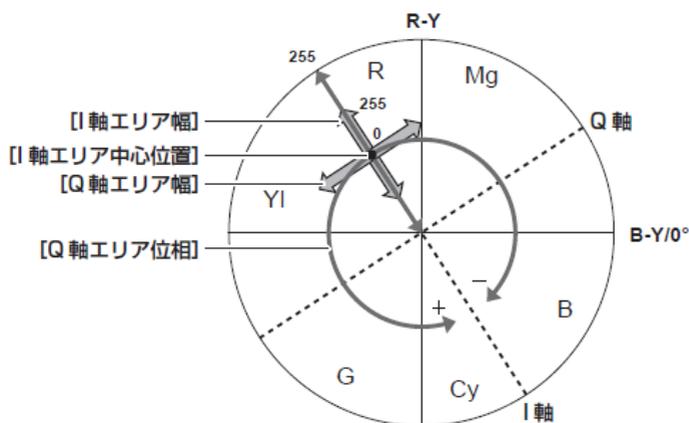
項目	内容	設定値( <u>  </u> は初期値)
スキントーンディテール A, B, C	肌色部分の輪郭補正を弱めることで人物の肌を滑らかに撮影する機能の色設定テーブルを選択	入, <u>切</u>

## 3-1-15. スキントーンゼブラ

項目	内容	設定値( <u>  </u> は初期値)
スキントーンゼブラ	ビューファインダー上のスキントーンエリアにゼブラパターンを表示	入, <u>切</u>

## 3-1-16. スキントーンディテール設定

項目	内容	設定値( <u>  </u> は初期値)
検出テーブル	スキントーンディテールを効かせる被写体の肌色テーブルを選択	<u>A</u> , B, C
スキントーンディテール効果	スキントーンディテール効果のレベルを設定	0 - <u>16</u> - 31
I 軸エリア中心設定	I 軸上の中心位置(スキントーンディテールを効かせる領域)の設定	0 - <u>35</u> - 255
I 軸エリア幅	I 軸エリア中心位置設定を中心とした I 軸上のスキントーン効かせるエリア幅を設定	1 - <u>2</u> - 3
Q 軸エリア幅	I 軸エリア中心位置設定を中心とした Q 軸上のスキントーン効かせるエリア幅を設定	1 - <u>2</u> - 3
Q 軸エリア位相	Q 軸を基準としたスキントーン効かせる領域の位相を設定	-128 - <u>0</u> - 127



ベクトルスコープで見たスキントーンディテール関連設定の効果イメージ

## [シーンファイル] メニュー

## 3-1-17. RB ゲインコントロール設定

項目	内容	設定値( <u>  </u> は初期値)
R ゲイン AWB プリセット	WHITE BAL スイッチが PRST 位置の時の赤色ゲインを設定	-200 - <u>0</u> - 200
B ゲイン AWB プリセット	WHITE BAL スイッチが PRST 位置の時の青色ゲインを設定	-200 - <u>0</u> - 200
R ゲイン AWB A	WHITE BAL スイッチが A 位置の時の赤色ゲインを設定	-200 - <u>0</u> - 200
B ゲイン AWB A	WHITE BAL スイッチが A 位置の時の青色ゲインを設定	-200 - <u>0</u> - 200
R ゲイン AWB B	WHITE BAL スイッチが B 位置の時の赤色ゲインを設定	-200 - <u>0</u> - 200
B ゲイン AWB B	WHITE BAL スイッチが B 位置の時の青色ゲインを設定	-200 - <u>0</u> - 200
AWB A ゲイン オフセット	WHITE BAL スイッチを A 位置にしてオートホワイトバランス(AWB)を行った時に R ゲイン AWB A, B ゲイン AWB A の設定値を保持するか選択	入: 設定値を保持 切: 赤, 青色ゲイン値を 0 にします
AWB B ゲイン オフセット	WHITE BAL スイッチを B 位置にしてオートホワイトバランス(AWB)を行った時に R ゲイン AWB B, B ゲイン AWB B の設定値を保持するか選択	入: 設定値を保持 切: 赤, 青色ゲイン値を 0 にします

## 3-1-18. 色温度 Ach 設定

項目	内容	設定値( <u>  </u> は初期値)
色温度	WHITE BAL スイッチが A 位置でオートホワイトバランス(AWB)動作を行っている、またはプリセットの時の色温度を表示、色温度を設定	2000K - <u>3200K</u> - 15000K
R ゲイン	WHITE BAL スイッチが A 位置でオートホワイトバランス(AWB)動作を行っている、またはプリセットの時の赤 ch の出力を表示、色温度を設定	-400 - <u>0</u> - 400
B ゲイン	WHITE BAL スイッチが A 位置でオートホワイトバランス(AWB)動作を行っている、またはプリセットの時の青 ch の出力を表示、色温度を設定	-400 - <u>0</u> - 400
G 軸	WHITE BAL スイッチが A 位置でオートホワイトバランス(AWB)動作を行っている、またはプリセットの時の G 軸の出力を表示、G 軸で色変化をさせることができます。	-400 - <u>0</u> - 400

## [シーンファイル] メニュー

## 3-1-19. 色温度 Bch 設定

項目	内容	設定値( <u>  </u> は初期値)
色温度	WHITE BAL スイッチが B 位置でオートホワイトバランス(AWB)動作を行っている、またはプリセットの時の色温度を表示、色温度を設定	2000K - <u>3</u> 200K - 15000K
R ゲイン	WHITE BAL スイッチが B 位置でオートホワイトバランス(AWB)動作を行っている、またはプリセットの時の赤 ch の出力を表示、色温度を設定	-400 - <u>0</u> - 400
B ゲイン	WHITE BAL スイッチが B 位置でオートホワイトバランス(AWB)動作を行っている、またはプリセットの時の青 ch の出力を表示、色温度を設定	-400 - <u>0</u> - 400
G 軸	WHITE BAL スイッチが B 位置でオートホワイトバランス(AWB)動作を行っている、またはプリセットの時の G 軸の出力を表示、G 軸で色変化をさせることができます。	-400 - <u>0</u> - 400

## 3-1-20. クロマレベル

項目	内容	設定値( <u>  </u> は初期値)
クロマレベル	映像の色レベルを設定。数値を大きくする映像の色が濃くなります。	切, -99% - <u>0</u> - 99%

## 3-1-21. クロマ位相

項目	内容	設定値( <u>  </u> は初期値)
クロマ位相	映像の色相を設定	-31 - <u>0</u> - 31

## 3-1-22. マトリックス

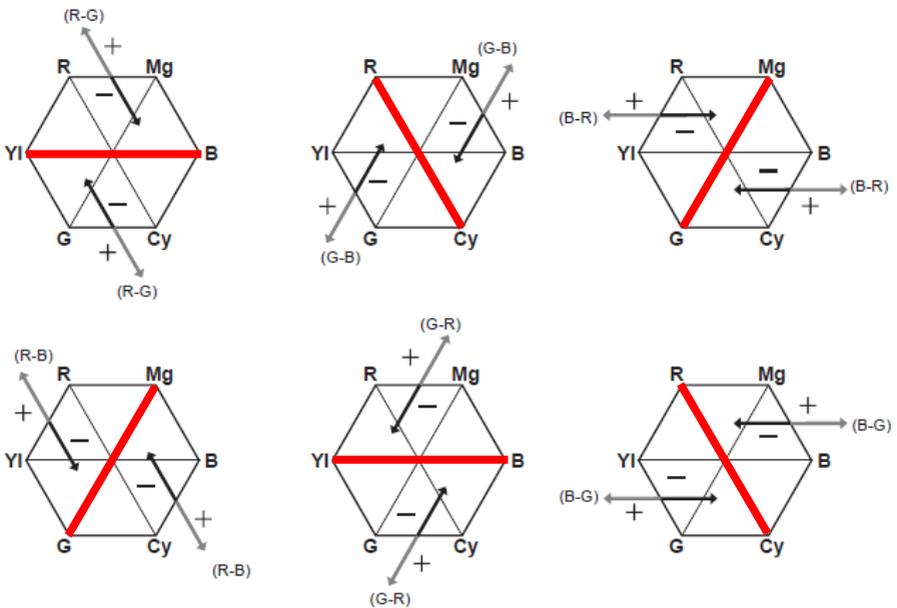
項目	内容	設定値( <u>  </u> は初期値)
マトリックスタイプ	色のプリセットテーブルを選択して色表現を変更	標準 1: 屋外やハロゲンランプの光源での撮影に適した設定 標準 2: 「標準 1」より鮮やかな色設定 蛍光灯: 蛍光灯下の屋内での撮影に適した設定 シネマライク: 映画感覚の撮影をする場合に適した設定
アダプティブマトリックス	青色 LED 照明下での色つぶれを緩和する設定。	入, 切

## [シーンファイル] メニュー

## 3-1-23. マトリックス設定

項目	内容	設定値 ( 0 は初期値)
R-G	リニアマトリックスを個別に調整	-63 - 0 - 63
R-B		
G-R		
G-B		
B-R		
B-G		

マトリックス調整効果のイメージ

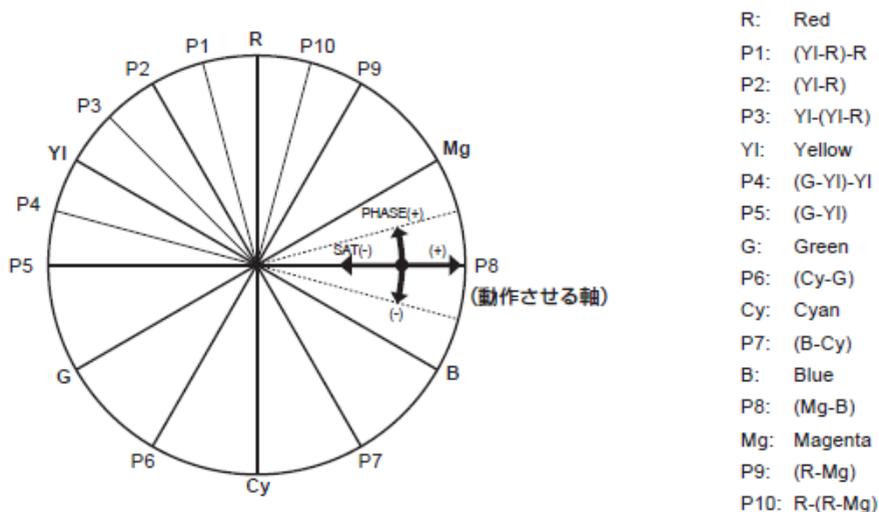


— 動作に連動して動かない軸

## [シーンファイル] メニュー

## 3-1-24. カラーコレクション

項目	内容	設定値 ( <u>  </u> は初期値)
カラーコレクション	16 種の色相に対する色の彩度と位相を設定することで特定の色だけを変更する効果が得られます。	-63 - <u>0</u> - 63



カラーコレクション(色補正)調整効果のイメージ

## [シーンファイル] メニュー

## 3-1-25. マスターペDESTAL

項目	内容	設定値( <u>   </u> は初期値)
マスターペDESTAL	映像の黒基準位置を設定	-200 - <u>16</u> - 200

## 3-1-26. RGB ブラックコントロール設定

項目	内容	設定値( <u>   </u> は初期値)
R ペDESTAL	赤 ch の黒基準レベルを設定	-100 - <u>0</u> - 100
G ペDESTAL	緑 ch の黒基準レベルを設定	-100 - <u>0</u> - 100
B ペDESTAL	青 ch の黒基準レベルを設定	-100 - <u>0</u> - 100
ペDESTALオフセット	オートブラックバランス(ABB)調整を行った時、R,G,B ペDESTAL項目で設定した赤、緑、青チャンネルの黒基準レベルを保持するかを選択	入: 設定した黒基準レベルを保持 切: 赤、緑、青 ch のペDESTALレベルを0に設定

## 3-1-27. ガンマモード選択

項目	内容	設定値( <u>   </u> は初期値)
ガンマモード選択	ガンマカーブを選択	HD, SD, FILMLIKE1, FILMLIKE2, FILMLIKE3, FILM-REC, VIDEO-REC, HLG

## 3-1-28. ガンマ設定

項目	内容	設定値( <u>   </u> は初期値)
マスターガンマ	ガンマカーブを0.01ステップで調整	0.30 - <u>0.45</u> - 0.75
F-REC ダイナミックレンジ	ガンマモード選択項目で FILM-REC 選択時のダイナミックレンジを設定	200% - <u>600%</u> (100%ステップ)
F-REC ブラックストレッチ	ガンマモード選択項目で FILM-REC 選択時のブラックストレッチ量を設定	<u>0%</u> - 30%
V-REC ニースロープ	ガンマモード選択項目で VIDEO-REC 選択時のニースロープを設定	150% - <u>500%</u> (50%ステップ)
V-REC ニーポイント	ガンマモード選択項目で VIDEO-REC 選択時のニーポイントを設定	<u>30%</u> - 107%
ブラックガンマ	暗部のガンマカーブを調節します (マイナス方向で信号レベルを圧縮、プラス方向でレベルを伸長)	-8 - <u>0</u> - 8
ブラックガンマレンジ	暗部のガンマカーブ圧縮、伸張の 上限レベルを設定	1: 20%程度 2: 30%程度 3: 40%程度

## [シーンファイル] メニュー

## 3-1-29. ニー設定

項目	内容	設定値 ( _ は初期値)
ニーモード	ニーの動作モードを設定	オート, マニュアル, 切
オートニー応答速度	オートニーの応答速度を設定。数値が小さいほど応答速度が速くなります。	1-4-8
ニーポイント	ニーポイントの位置設定	70.0% - 93.0% - 107.0% (0.5%ステップ)
ニースロープ	ニーの傾きを設定	0 - 99
HLG ニースイッチ	HLG モード時のニーの有効/無効を設定	入, 切
HLG ニーポイント	HLG モード時のニーポイントの位置設定	55 - 100
HLG ニースロープ	HLG モード時のニーの傾きを設定	0 - 10 - 100

## 3-1-30. ホワイトクリップ設定

項目	内容	設定値 ( _ は初期値)
ホワイトクリップ	ホワイトクリップ機能のオン、オフ	入, 切
ホワイトクリップレベル	ホワイトクリップを行う映像レベルの設定	90% - 109%

## 3-1-31. DRS(Dynamic Range Stretcher: ダイナミックレンジストレッチャー)

DRS は通常の撮影では白飛びするような高輝度部分の映像レベルを圧縮することにより、ダイナミックレンジを拡大することができる機能です。

項目	内容	設定値 ( _ は初期値)
DRS	ダイナミックレンジストレッチャー機能のオン、オフ	入, 切 (USER ボタン割付可能)

## 3-1-32. DRS 効果

項目	内容	設定値 ( _ は初期値)
DRS 効果	ダイナミックレンジストレッチャー機能の効果を設定	1, 2, 3

## 3-1-33. デジタルノイズリダクション

項目	内容	設定値 ( _ は初期値)
デジタルノイズリダクション	映像のノイズ低減効果を設定	切, 1, 2

## 3-1-34. オートアイリスレベル

項目	内容	設定値 ( _ は初期値)
オートアイリスレベル	オートアイリスレベル機能のオン、オフ	入, 切 (USER ボタン割付可能)

## 3-1-35. オートアイリスレベル効果

項目	内容	設定値 ( _ は初期値)
オートアイリスレベル効果	オートアイリスモードのターゲット 明るさを設定。数値を大きくすると明るく収束します。	-50 - 0 - 50

## [音声] メニュー

## 3-1-36. 入力設定

項目	内容	設定値( __ は初期値)
マイク入力 1	AUDIO INPUT1 端子に接続した外部マイクに対する入力レベルを設定	-40dB, <u>-50dB</u> , -60dB
マイク入力 2	AUDIO INPUT2 端子に接続した外部マイクに対する入力レベルを設定	-40dB, <u>-50dB</u> , -60dB
ライン入力 1	AUDIO INPUT1 端子に接続した外部機器に対する入力レベルを設定	4dB, <u>0dB</u>
ライン入力 2	AUDIO INPUT2 端子に接続した外部機器に対する入力レベルを設定	4dB, <u>0dB</u>

## 3-1-37. 記録チャンネル設定

項目	内容	設定値( __ は初期値)
CH1 レベル	音声チャンネル 1 のレベル調整方法を設定	オート, マニュアル
CH2 レベル	音声チャンネル 2 のレベル調整方法を設定	オート, マニュアル
CH3 レベル	音声チャンネル 3 のレベル調整方法を設定	オート, マニュアル
CH4 レベル	音声チャンネル 4 のレベル調整方法を設定	<u>オート</u> , マニュアル
CH3 レベル調整	CH3 レベル項目がマニュアルの時の記録音量を設定	0 - <u>70</u> - 100
CH4 レベル調整	CH4 レベル項目がマニュアルの時の記録音量を設定	0 - <u>70</u> - 100
CH1 マイクロカット	音声チャンネル 1 の低音域カット機能をオン、オフ	入, <u>切</u>
CH2 マイクロカット	音声チャンネル 2 の低音域カット機能をオン、オフ	入, <u>切</u>
CH3 マイクロカット	音声チャンネル 3 の低音域カット機能をオン、オフ	入, <u>切</u>
CH4 マイクロカット	音声チャンネル 4 の低音域カット機能をオン、オフ	入, <u>切</u>
CH1 リミッター	音声チャンネル 1 で音声入力 レベルの調整方法が手動の場合にリミッターを機能させるかどうかの選択	入, <u>切</u>
CH2 リミッター	音声チャンネル 2 で音声入力 レベルの調整方法が手動の場合にリミッターを機能させるかどうかの選択	入, <u>切</u>
CH3 リミッター	音声チャンネル 3 で音声入力 レベルの調整方法が手動の場合にリミッターを機能させるかどうかの選択	入, <u>切</u>
CH4 リミッター	音声チャンネル 4 で音声入力 レベルの調整方法が手動の場合にリミッターを機能させるかどうかの選択	入, <u>切</u>
ヘッドルーム	基準レベルの設定	12dB, 18dB, <u>20dB</u>

## [音声] メニュー

## 3-1-38. 出力設定

項目	内容	設定値 ( _ は初期値)
音声出力	AV OUT 端子、ヘッドホン端子および内蔵スピーカーから出力する音声チャンネル、形式の選択	CH1, CH2, CH3, CH4, <u>CH1/2</u> ステレオ, CH1/2 ミックス, CH3/4 ステレオ, CH3/4 ミックス
HDMI 出力チャンネル	HDMI 端子から出力する音声チャンネルの選択	<u>CH1/2</u> , CH3/4, CH1/2/3/4

## 3-1-39. アラーム

項目	内容	設定値 ( _ は初期値)
バッテリーエンド	バッテリー残量がなくなった際にアラームを鳴らすかの選択	高, 中, 低, <u>切</u>
メディアエンド	メモリーカードの記録残量がなくなった際にアラームを鳴らすかの選択	高, 中, 低, <u>切</u>
ワーニング	システムエラーやワーニングが発生したときにアラーム音を鳴らすかどうかの選択	高, 中, 低, <u>切</u>

## [映像出力/LCD/VF] メニュー

## 3-1-40. 映像出力選択

項目	内容	設定値 (  は初期値)
映像出力選択	映像音声の外部出力先を設定	<u>SDI+HDMI</u> , AV+HDMI

## 3-1-41. SDI 出力

項目	内容	設定値 (  は初期値)
出力スイッチ	SDI OUT 端子からの出力オン、オフ	<u>入</u> , 切
出力フォーマット	SDI OUT 端子から出力する信号の選択  システム周波数設定などにより、選択可能な項目が変化します。詳細は 6-3. 外部出力時の出力解像度一覧 (SDI) (P.87)を参照ください。	1920x1080p, <u>1920x1080i</u> , 1920x1080PsF, 1280x720p, 720x480i, 720x576i
3G-SDI 出力	SDI OUT 端子から出力する 3G SDI 信号の形式を選択	LEVEL-A, <u>LEVEL-B</u>
SD-SDI EDH	SDI OUT 端子からの信号が 480i, 576i のとき EDH を重畳するかどうかの選択	<u>入</u> , 切
SDI リモート記録	SDI OUT 端子に接続された外部レコーダーなどの機器に対する記録動作を制御するかの設定	入: 外部機器を制御する <u>切</u> : 制御しない
SDI 出力キャラクター	SDI OUT 端子から出力する信号にキャラクターを重畳するかどうかの設定	入, <u>切</u>
SDI 出力ゼブラ	SDI OUT 端子から出力する信号にゼブラを重畳するかどうかの設定	入, <u>切</u>
SDI 出力 HDR	SDI OUT 端子から出力する信号のイメージを選択	SDR, <u>HDR (*1)</u>
SDI 出力 V-Log	システムメニューのカラー設定が V-Log に設定されている時の SDI OUT 端子から出力する信号のイメージを選択	<u>V-Log</u> , V-709

\*1 次のメニュー項目設定時、出力は「SDR」に固定されます。

MENU > システム > 記録フォーマット > 480-59.94i/AVCHD SA

MENU > システム > 記録フォーマット > 576-50.00i/AVCHD SA

MENU > 映像出力/LCD/VF > SDI 出力 > 出力フォーマット > 720x480i

MENU > 映像出力/LCD/VF > SDI 出力 > 出力フォーマット > 720x576i

また、MENU > シーンファイル > ガンマモード選択 項目が「HLG」以外に設定されているときは、カメラ映像を SDR で出力します。

## [映像出力/LCD/VF] メニュー

## 3-1-42. HDMI 出力

項目	内容	設定値 ( 〇 は初期値)
出力フォーマット	HDMI 端子から出力する信号の選択 システム周波数設定などにより、選択可能な項目が変化します。詳細は 6-4. 外部出力時の出力解像度一覧 (HDMI) (P.88)を参照ください。	3840x2160, 3840x2160p (420/8bit), 1920x1080p, 1920x1080i, 1280x720p, 720x480p, 720x576p
HDMI TC 出力	HDMI 出力信号にタイムコード情報を出力するかの選択	入, <u>切</u>
HDMI リモート記録 (*2)	HDMI 端子に接続された外部レコーダーなどの機器に対する記録動作を制御するかどうかの設定	入: 外部機器を制御する <u>切</u> : 制御しない
HDMI 出力キャラクター	HDMI 端子から出力する信号にキャラクターを重畳するかどうかの設定	入, <u>切</u>
HDMI 出力ゼブラ	HDMI 端子から出力する信号にゼブラを重畳するかどうかの設定	入, <u>切</u>
HDMI 出力 HDR	HDMI 端子から出力する信号のイメージを選択	SDR, <u>HDR</u> (*3)
HDMI 出力 V-Log	システムメニューのカラー設定が V-Log に設定されている時の HDMI 端子から出力する信号のイメージを選択	<u>V-Log</u> , V-709

\*2 「HDMI TC 出力」設定が「入」の時に設定可能。記録メニュー > 記録機能 > 記録モード 設定が「インターバル」の時は設定できません。

\*3 次のメニュー項目設定時、出力は「SDR」に固定されます。

MENU > システム > 記録フォーマット > 480-59.94i/AVCHD SA

MENU > システム > 記録フォーマット > 576-50.00i/AVCHD SA

MENU > 映像出力/LCD/VF > HDMI 出力 > 出力フォーマット > 720x480p

MENU > 映像出力/LCD/VF > HDMI 出力 > 出力フォーマット > 720x576p

また、MENU > シーンファイル > ガンマモード選択 項目が「HLG」以外に設定されているときは、カメラ映像を SDR で出力します。

## 3-1-43. AV 出力

MENU > 映像出力/LCD/VF > 映像出力選択項目が、AV+HDMI 時に有効

項目	内容	設定値 ( 〇 は初期値)
出力スイッチ	AV OUT 端子からの信号出力オン、オフ	入, <u>切</u>
AV 出力キャラクター	AV OUT 端子から出力する信号にキャラクターを重畳するかどうかの設定	入, <u>切</u>
AV 出力ゼブラ	AV OUT 端子から出力する信号にゼブラを重畳するかどうかの設定	入, <u>切</u>

## [映像出力/LCD/VF] メニュー

### 3-1-44. SD ダウンコンバート

項目	内容	設定値( __ は初期値)
SD ダウンコンバート	SDTV にダウンコンバートする時の画各を設定	サイドクロップ, レターボックス, スクイーズ

### 3-1-45. LCD

項目	内容	設定値( __ は初期値)
明るさ	液晶モニターの明るさを調整	-15 - <u>0</u> - 15
色レベル	液晶モニターの色段階を調整	-15 - <u>0</u> - 15
コントラスト	液晶モニターのコントラストを調整	-30 - <u>0</u> - 30
バックライト	液晶モニターバックライトを調整	-1, <u>0</u> , 1, 2
対面撮影	対面撮影を行うときの液晶モニター画面の表示を設定	標準, ミラー(映像を左右反転)

### 3-1-46. VF

項目	内容	設定値( __ は初期値)
明るさ	ビューファインダーの明るさを調整	-15 - <u>0</u> - 15
色レベル	ビューファインダーの色段階を調整	-15 - <u>0</u> - 15
コントラスト	ビューファインダーのコントラストを調整	-30 - <u>0</u> - 30
VF カラー	ビューファインダーをカラー表示するかどうかの設定	<u>入</u> , 切
アイセンサー感度	ビューファインダー内の近接センサー感度を設定	高, 低

### 3-1-47. LCD/VF HDR

項目	内容	設定値( __ は初期値)
LCD/VF HDR	液晶モニターとビューファインダーの映像出力イメージを選択	SDR, <u>HDR</u> (*4)
LCD/VF V-Log	システムメニューのカラー設定が V-Log に設定されている時の液晶モニターとビューファインダーから出力する信号のイメージを選択	<u>V-Log</u> , V-709

\*4 次のメニュー項目設定時、出力は「SDR」に固定されます。

MENU > システム > 記録フォーマット > 480-59.94i/AVCHD SA

MENU > システム > 記録フォーマット > 576-50.00i/AVCHD SA

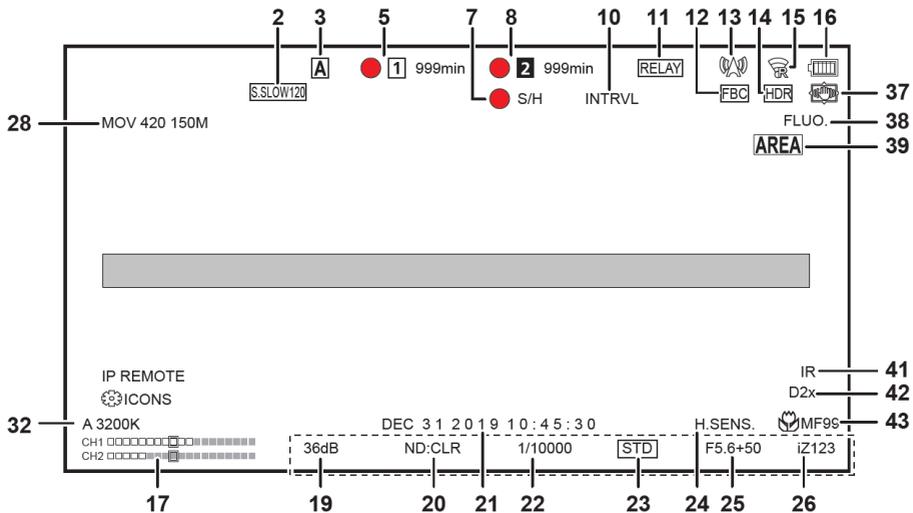
MENU>シーンファイル>ガンマモード選択項目が「HLG」以外に設定されているときは SDR で出力します。

## [映像出力/LCD/VF] メニュー

## 3-1-48. インジケータ

出力映像に重畳する各種情報の種類を設定可能です。

No.	項目	内容	設定値
2	フレームレート	シーンファイルメニュー > フレームレート項目の設定状態を表示	入, 切
3	フルオート	本体の AUTO/MANUAL スイッチを AUTO に設定したときの状態表示	入, 切
5.8	スロット 1/2 の状態	カードスロットの状態や残量情報の表示	入, 切
7	リモート記録	SDI OUT 端子、HDMI 端子に接続された外部機器への記録開始、停止制御状態の表示	入, 切
10	記録モード	インターバル記録モードの状態を表示	入, 切
11	2 スロット機能	記録メニュー > 2 スロット機能設定状態の表示	入, 切
12	FBC	フラッシュバンド補正機能の動作を示す	入, 切
13	ストリーミング	ストリーミング配信状態の表示	入, 切
14	HDR/DRS/V-Log	ハイダイナミックレンジ記録機能またはダイナミックレンジストレッチャー機能の動作を示す	入, 切
15	ネットワーク	ワイアレスまたは有線 LAN 接続状態の表示	入, 切
16	バッテリー残量	電源状態の表示	入, 切
17	オーディオレベルメーター	オーディオレベルメーターの表示	入, 切
19	ゲイン	現在のゲイン値の表示	入, 切
20	ND フィルター	現在の ND フィルター透過率の表示	入, 切

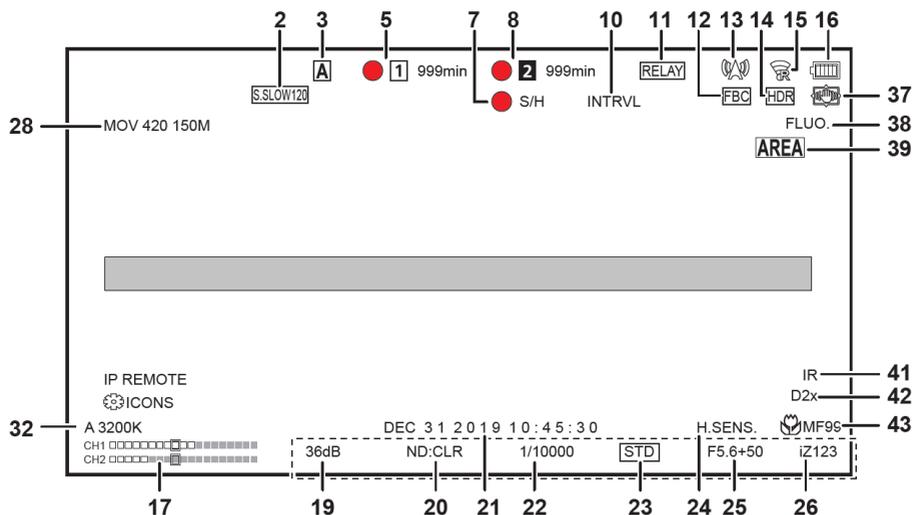


## [映像出力/LCD/VF] メニュー

## 3-1-48. インジケータ(つづき)

出力映像に重畳する各種情報の種類を設定可能です。

No.	項目	内容	設定値
21	日付/時刻	日時情報の表示	切, 日付, 時刻, 日付と時刻
22	シャッター	現在のシャッタースピードの表示	入, 切
23,25	アイリス	現在の F 値、オートアイリス制御状態の表示	入, 切
24	撮影モード	高感度モードの動作状態を表示	入, 切
28	記録フォーマット	記録フォーマット設定の表示	入, 切
32	ホワイトバランス	色温度の情報の表示	入, 切
37	O.I.S	手振れ補正機能の動作を示す	入, 切
38	シーンファイル	現在のシーンファイル名の表示	入, 切
39	エリア	エリアモード機能またはフォーカスエリア幅調整機能が動作している際に表示するかどうかの設定	入, 切
41	赤外線撮影	カメラメニュー > スイッチ > 赤外線撮影項目の動作表示	入, 切
42	デジタルズーム	現在のデジタルズーム倍率を表示	入, 切
26,43	ズーム/フォーカス	ズーム値、フォーカス値の表示単位切り換え	数値, mm/feet, mm/m, 切



## [映像出力/LCD/VF] メニュー

## 3-1-49. マーカー

出力映像に表示するマーカーを設定できます。

項目	内容	設定値( <u>  </u> は初期値)
センターマーカー	センターマーカー種類の切換	切, 1:+(大), 2:中空き(大), 3:+(小), 4:中空き(小) 1  2  3  4 
セーフティゾーンマーカー	セーフティゾーンマーカー種類の切換	1:ボックス, 2: <u>コーナ</u> ー, OFF
セーフティエリア	セーフティゾーンマーカーサイズの設定	80% - <u>90</u> % - 100%
フレームマーカー	フレームマーカー種類の切換	4:3, 13:9, 14:9, 1.85:1, 2.35:1, <u>切</u>
フレームカラー	フレームマーカーの色を設定	<u>白</u> , 黒, 赤, 緑, 青, 黄

## 3-1-50. フォーカスアシスト

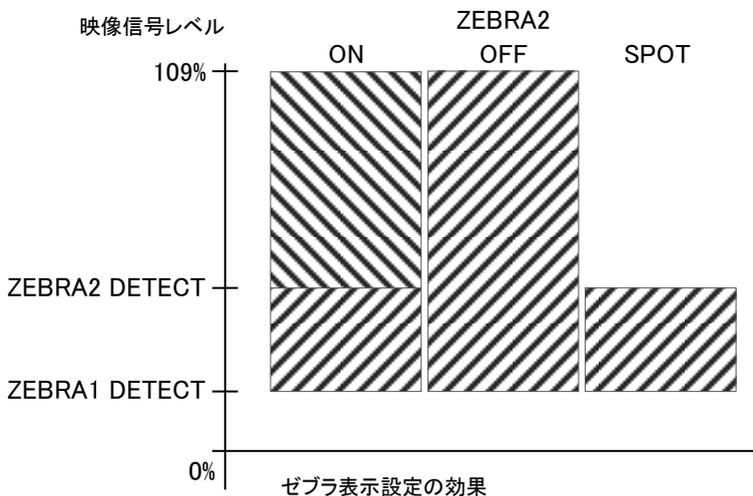
項目	内容	設定値( <u>  </u> は初期値)
フォーカスアシストスイッチ	FOCUS ASSIST ボタンを押した際のフォーカスアシスト方法を選択	<u>拡大表示</u> , ピーキング
拡大表示モード	映像拡大表示機能の設定	10 秒: 10 秒間だけ拡大 継続: 再度、拡大表示操作するまで拡大を保持 記録開始まで継続:
拡大率	映像拡大表示の倍率を設定	<u>x2</u> , x3, x4
ピーキングレベル	ピーキング表示の強弱を設定	低, <u>中</u> , 高
ピーキングカラー	ピーキング表示の色を設定	<u>赤</u> , 緑, 白
モノクロ表示	映像モノクロ表示機能のオン、オフ	入, <u>切</u> , ピーキング表示中
ディテール	フォーカスを合わせやすくするために映像の輪郭を強調	<u>入</u> , 切
ディテールレベル	輪郭補正の強さを設定	-3 -- <u>0</u> -- 3
ディテール周波数	輪郭補正の周波数を調整	高, <u>低</u>

## [映像出力/LCD/VF] メニュー

## 3-1-51. 露出アシスト

出力する映像にて露出を合わせるための機能を設定できます。

項目	内容	設定値(  は初期値)
ゼブラ	映像出力にゼブラパターンを重畳するかの設定	5 秒, 入, 切
ゼブラ 1 検出レベル	ゼブラパターン 1 の検出レベルを設定	0% - 80% - 109%
ゼブラ 2 検出レベル	ゼブラパターン 2 の検出レベルを設定	0% - 100% - 109%
ゼブラ 2	ゼブラパターン 2 表示のオン、オフならびにスポット表示の設定	入, スポット, 切
WFM モード	波形、ベクトルモニター表示種類の設定 (表示の ON/OFF は USER ボタンで呼び出し)	波形: 波形モニターを表示 ベクトル: ベクトルスコープを表示 波形/ベクトル: USER ボタンを押すごとに波形/ベクトル表示を切り替え
WFM 透過率	波形/ベクトルモニターの透過率を設定	0%, 25%, 50%
Y GET 表示単位	Y GET(スポットメーター機能)の表示単位を設定	% , STOP (カメラメニュー>スイッチ>ゲイン/ISO モード>が dB に設定されているときは、%に固定されます。)
水準器	水準器機能のオン、オフ	入, 切
水準器リセット	USER ボタンの水準器設定で設定した水平/垂直方向の基準値を出荷状態にリセット	はい, いいえ



## [記録] メニュー

## 3-1-52. メディアフォーマット

項目	内容	設定値 ( _ は初期値)
メディアフォーマット	メモリーカードを初期化します。	スロット 1, スロット 2

## 3-1-53. クリップ名

項目	内容	設定値 ( _ は初期値)
カメラインデックス	記録する MOV 形式のファイル名に使用する CAM INDEX を設定	<u>A</u> - Z
次のカード番号	記録する MOV 形式のファイル名に使用する CARD COUNT を設定	<u>001</u> - 999

## 3-1-54. ファイル分割

項目	内容	設定値 ( _ は初期値)
ファイル分割	P2 形式のファイル記録方法。分割を選択すると約 4GB 毎に分割して記録(*)	<u>1</u> ファイル, 分割

\*AVC-Intra コーデックで記録時は、分割記録となります。

## 3-1-55. 2 スロット機能

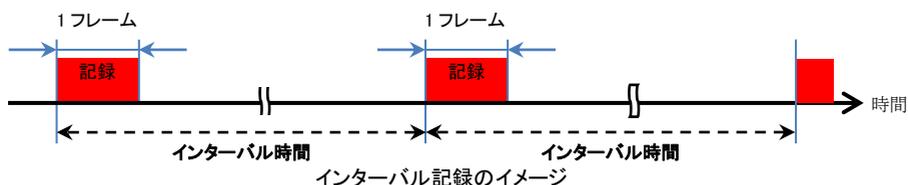
項目	内容	設定値 ( _ は初期値)
2 スロット機能	2 枚のメモリーカードを利用した記録機能を設定	切, <u>リレー記録</u> , サイマル記録, バックグラウンド記録

## 3-1-56. ブリレック

項目	内容	設定値 ( _ は初期値)
ブリレック	ブリレック (PRE-REC, メモリーを用いて記録を開始する少し前の映像、音声を記録する機能) をオン、オフします。	入, <u>切</u>

## 3-1-57. 記録機能

項目	内容	設定値 ( _ は初期値)
記録モード	設定した時間間隔で 1 フレーム記録する動作を繰り返し行うインターバル記録の有効化 *AVC-Intra コーデック選択時、インターバル記録はご利用になれません。	<u>標準</u> , インターバル
記録モード保持	インターバル記録の有効状態を電源オフ後も保持するかを選択	入: 保持します 切: 保持しません
インターバル時間	インターバル記録を行うときのインターバル時間を設定	1 秒, 2 秒, 5 秒, 10 秒, 30 秒, 1 分, <u>5</u> 分, 10 分



## 〔記録〕メニュー

### 3-1-58. TC/UB

項目	内容	設定値( _ は初期値)
TC プリセット	記録するタイムコードの初期値を設定	---
UB プリセット	ユーザーズビットを設定	00 - FF
フリーラン/レックラン	タイムコードの歩進方式を設定(*1)	フリーラン, <u>レックラン</u>
DF/NDF	タイムコードのカウント方式を設定	<u>DF</u> , NDF
UB モード	クリップに記録、または SDI 信号の LTCUB, VITC UB の一部として出力するユーザーズビットの切り換え	フレームレート, <u>ユーザー設定</u> , 時刻, 日付, TC, クリップ名
TC 入出力選択	TC IN/OUT 端子の入出力を設定	TC 入力, TC 出力
TC 出力基準	TC IN/OUT 端子から出力するタイムコードの出力遅延基準を設定	記録: タイムコードを遅延なしに出力します。本機をマスターにして2台で同時撮りをする場合はこちらを選択します。 SDI 出力: SDI の遅延に合わせます

\*1

- ・ シーンファイルメニュー > VFR > 入 に設定されているときは「レックラン」に固定されます。
- ・ システムメニュー > スーパースロー > 入 に設定されているときは「レックラン」に固定されます。
- ・ 記録メニュー > プリレック > 入 に設定されているときは「フリーラン」に固定されます。
- ・ 記録メニュー > 2 スロット機能 > バックグラウンド記録に設定されている時は「フリーラン」に固定されます。
- ・ 記録メニュー > 記録機能 > 記録モード > インターバルに設定されている時は「レックラン」に固定されます。

### 3-1-59. 記録時間カウンター

項目	内容	設定値( _ は初期値)
記録時間カウンター	記録時のカウンター動作を設定	<u>トータル</u> : RESET ボタンを押すまで積算 クリップ: 記録開始毎にリセット

### 3-1-60. タイムスタンプ

項目	内容	設定値( _ は初期値)
タイムスタンプ	撮影する映像に日時情報を重畳するか選択	切, 日付, 時刻, 日付と時刻

\*V-Log モード (システムメニュー > カラー) 使用時、タイムスタンプ機能はご利用になれません。

## [ネットワーク] メニュー

## 3-1-61. デバイス選択

項目	内容	設定値( <u>  </u> は初期値)
デバイス選択	セットワーク接続をする方式を選択	LAN, 無線 LAN, <u>切</u>

## 3-1-62. ネットワーク機能

項目	内容	設定値( <u>  </u> は初期値)
ネットワーク機能	使用する機能の選択	ストリーミング, NDI HX, <u>切</u>

## 3-1-63. IP リモート

項目	内容	設定値( <u>  </u> は初期値)
IP リモート	CX ROP アプリによるリモート操作の有効/無効選択	有効, 無効
ユーザーアカウント	本機のネットワーク機能で認証に用いるアカウントの登録	最大 10 アカウントまで設定可能
アカウントリスト	登録されているユーザーの一覧表示、削除	---

## 3-1-64. ストリーミング

項目	内容	設定値( <u>  </u> は初期値)
ストリーミングフォーマット	ストリーミング配信するフォーマットの選択	詳細は、P.89 6-5. ストリーミングフォーマット(RTMP形式)について を参照ください。
開始トリガー	ストリーミング配信を本機の操作で開始するか、外部のアプリケーションソフトから実行するかの設定	カメラ, <u>レシーバー</u> , レシーバー(マルチキャスト)
データタイプ (表示のみ)	データの設定データを表示します。	GENERAL: P2CAST 以外のデータ時 P2CAST: 弊社が提供する素材アップロードサービスの形式時
接続情報	ストリーミング配信の転送先を本機内のメモリー、メモリーカードから選択	<u>メモリー</u> , メモリーカード
レシーバーURL	送信先 URL を指定 (511 文字以内) 記述方式: <code>rtmp://(サーバーURL):(ポート番号)/(パス)/(ストリームキー)</code> <code>rtmps://(サーバーURL):(ポート番号)/(パス)/(ストリームキー)</code>	
マルチキャストアドレス	マルチキャスト配信時のアドレスを設定	工場出荷値: 239.192.0.20
マルチキャストポート番号	マルチキャスト配信時のポート番号	工場出荷値: 37004
ロード (SD カード)	接続情報設定が、メモリーの時にメモリーカードから設定を読み込む	はい, いいえ
セーブ (SD カード)	送信先 URL 情報をメモリーカードへ暗号化して保存	はい, いいえ
クリア (メモリー)	本機内のストリーミング設定を消去	入, <u>切</u>
開始	ストリーミング配信を開始	入, <u>切</u>

## [ネットワーク] メニュー

## 3-1-65. NDI|HX

項目	内容	設定値( _ は初期値)
アクティベーション	NDI HX の機能が有効な状態かを表示	一: NDI HX は無効です NDI HX: 有効化されています
ストリーミングフォーマット	ストリーミング配信するフォーマットの選択	システム設定によって変化します。 詳細は、P.91 (6-6. ストリーミングフォーマット(NDI   HX 形式)について)を参照ください。
マルチキャスト	マルチキャスト機能の有効化	有効, 無効
マルチキャストアドレス	マルチキャスト配信時のアドレスを設定	工場出荷値: 239.192.0.20
マルチキャストポート番号	マルチキャスト配信時のポート番号	工場出荷値: 37004

## 3-1-66. LAN プロパティ

有線 LAN に関する設定を行います。MENU > ネットワーク > デバイス選択項目が LAN 時に有効

項目	内容	設定値( _ は初期値)
MAC アドレス	有線 LAN の MAC アドレスを表示	----
IPv4 設定	DHCP	DHCP 機能の有効、無効ならびに本機が DHCP クライアントとして IP アドレスを取得するか、DHCP サーバーとして他の機器へ IP アドレスを付与するかの設定  切, クライアント, サーバー
	IP アドレス	---
	サブネットマスク	---
	デフォルトゲートウェイ	---
	優先 DNS サーバー	---
IPv6 設定	代替 DNS サーバー	---
	有効/無効	IPv6 を使用するかの設定  有効, 無効
	DHCP	DHCP 機能の有効、無効ならびに本機が DHCP クライアントとして IP アドレスを取得するかの設定  切, クライアント
	IP アドレス	---
	プレフィックス長	サブネットのプレフィックス長を設定  工場出荷値: 64
	デフォルトゲートウェイ	---
	優先 DNS サーバー	---
代替 DNS サーバー	---	

## [ネットワーク] メニュー

## 3-1-67. 無線 LAN プロパティ

無線 LAN に関する設定を行います。MENU > ネットワーク > デバイス選択項目が無線 LAN 時に有効

項目	内容	設定値 ( _ は初期値)
MAC アドレス	無線 LAN の MAC アドレスを表示	----
タイプ	ワイアレス LAN の接続方法を設定	ダイレクト: アクセスポイントを使用せずタブレット端末などへ直接接続する場合 インフラ(選択): アクセスポイントと接続する場合。アクセスポイントは一覧から選択 インフラ(手動): アクセスポイントと接続する場合。アクセスポイント情報は手動で入力
SSID	本機のネットワーク名を表示、設定	工場出荷値: AG-CX350
帯域	タイプ設定項目がダイレクトの時の通信方式を設定	2.4GHz, 5GHz
CHANNEL(2.4GHz)	タイプ設定項目をダイレクトに設定かつ、帯域設定項目が 2.4GHz の時のチャンネルを選択	オート, CH1, CH6, CH11
CHANNEL(5GHz)	タイプ設定項目をダイレクトに設定かつ、帯域設定項目が 5GHz の時のチャンネルを選択	オート, CH36, CH40, CH44, CH48, CH100, CH104, CH108, CH112, CH116, CH132, CH136, CH140, CH149, CH153, CH157, CH161, CH165
暗号化方式	タイプ設定項目をインフラに設定時の暗号化方式を選択	WPA-TKIP, WPA-AES, WPA2-TKIP, WPA2-AES, なし
暗号化キー	暗号化キーを設定	8-63 文字の文字列または 64 桁の 16 進数 * 暗号化キーの工場出荷値: 01234567890123456789abcdef
IPv4 設定	DHCP	DHCP 機能の有効、無効ならびに本機が DHCP クライアントとして IP アドレスを取得するか、DHCP サーバーとして他の機器へ IP アドレスを付与するかの設定  切, クライアント, サーバー
	IP アドレス	工場出荷値: 192.168.0.1
	サブネットマスク	工場出荷値: 255.255.255.0
	デフォルトゲートウェイ	工場出荷値: 192.168.0.254
	優先 DNS サーバー	工場出荷値: 0.0.0.0
	代替 DNS サーバー	工場出荷値: 0.0.0.0

## [ネットワーク] メニュー

## 3-1-68. ネットワーク情報

項目	内容	設定値 ( _ は初期値)
状態	ネットワーク機能の状態を表示	

## 3-1-69. ユーティリティ

項目	内容	設定値 ( _ は初期値)
ネットワーク設定 初期化	ネットワークの各種設定を工場出荷状態に戻します	---
IP 簡単設定	IP 簡単設定ソフトウェア(*1)からの変更を受け付ける時間を設定	無効: ソフトからの制御を受けつけません 20 分: 本機を起動してから 20 分間のみ制御を受けつけます。 無制限: 常に制御を受けつけます。
IP 簡単設定ソフト用 カメラタイトル	IP 簡単設定ソフトウェア上で本機を表示したときの名称を設定	工場出荷値: AG-CX350

\*1: IP 簡単設定ソフトウェアは、ネットワークに接続された当社関連機器のネットワーク設定を簡単にに行える Windows アプリケーションです。下記サポートサイトより無償でご利用いただけます。

[http://panasonic.biz/cns/sav/pass\\_j](http://panasonic.biz/cns/sav/pass_j)

## [システム] メニュー

## 3-1-70. システム周波数

項目	内容	設定値( __ は初期値)
システム周波数	---	59.94Hz, 50.00Hz

## 3-1-71. ファイルフォーマット

項目	内容	設定値( __ は初期値)
ファイルフォーマット	記録するファイル形式の設定	P2, MOV, AVCHD

## 3-1-72. 記録フォーマット

項目	内容	設定値( __ は初期値)
記録フォーマット	記録する信号フォーマットとコーデックモードの設定	---

## 3-1-73. 音声ビット数

項目	内容	設定値( __ は初期値)
音声ビット数	AVC-Intra100, Intra50 形式で記録する場合の音声のビット数を設定	16 <u>ビット</u> , 24 ビット

## 3-1-74. アスペクト比

項目	内容	設定値( __ は初期値)
アスペクト比	SD 信号フォーマット(480i, 576i)で記録する際のアスペクト比を設定	4:3, 16:9

## 3-1-75. スーパースロー

項目	内容	設定値( __ は初期値)
スーパースロー	スローモーション撮影モード(59.94 時 120fps, 50.00Hz 時 100fps)のオン、オフ	入, <u>切</u>

\* 次の条件下では、スーパースロー機能はご利用になれません(切で固定)。

- ・ MENU > システム > ファイルフォーマットが、MOV 以外に設定されている時
- ・ MENU > システム > 記録フォーマットが、1920x1080 以外に設定されている時
- ・ MENU > システム > 記録フォーマットが、59.94i または 50.00i に設定されている時

## 3-1-76. 撮影モード

項目	内容	設定値( __ は初期値)
撮影モード	暗い環境での撮影に適した高感度モードの選択	標準, 高感度

## [システム] メニュー

## 3-1-77. カラー

項目	内容	設定値( )は初期値)
カラー	記録する映像のカラーを設定	標準, V-Log

\* カラー項目を V-Log に設定している間はモードの性質上、以下の機能が無効となります。

メニューページ	メニュー項目	解説ページ
カメラ	スイッチ > 赤外線撮影	24
シーンファイル	マスターディテール	27
	ディテールコアリング	27
	ディテール設定	27
	スキントーンディテール A,B,C	28
	スキントーンゼブラ	28
	スキントーンディテール設定	28
	クロマレベル	30
	クロマ位相	30
	マトリックス	30
	マトリックス設定	31
	カラーコレクション	32
	マスターペDESTAL	33
	RGB ブラックコントロール設定	33
	ガンマモード選択	33
	ガンマ設定	33
	ニー設定	34
	ホワイトクリップ設定	34
	DRS	34
	DRS 効果	34
映像出力/LCD/VF	SDI 出力 > SDI 出力ゼブラ	37
	SDI 出力 > SDI 出力 HDR	37
	HDMI 出力 > HDMI 出力ゼブラ	38
	HDMI 出力 > HDMI 出力 HDR	38
	AV 出力 > AV 出力ゼブラ	38
	LCD/VF HDR	39
	インジケーター > シーンファイル	40
	露出アシスト > ゼブラ	43
	露出アシスト > ゼブラ 1.2 検出レベル	43
	露出アシスト > ゼブラ 2	43
記録	タイムスタンプ	45

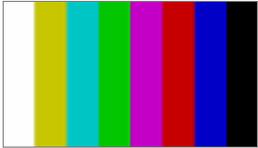
## [その他] メニュー

## 3-1-78. ファイル

ユーザーファイルの内部メモリーへの書き込み、読み込み、初期化を行います。

項目	内容	設定値( _ は初期値)
シーンファイル (SD カード)	画質関連設定情報を SD メモリーカードから読み込んだり、保存したりします。	ロード、セーブ、 名前を付けてセーブ
セットアップファイル (SD カード)	設定情報を SD メモリーカードから読み込んだり、保存したりします。	ロード、セーブ、 名前を付けてセーブ
セットアップファイル (メモリー)	設定情報を本機の内蔵メモリーから読み込んだり、保存したりします。	ロード、セーブ、初期化
ロード/セーブ用スロット	シーンファイル、セットアップファイル、ストリーミング設定ファイルの読み込みと保存を行うスロットを選択	スロット 1, スロット 2

## 3-1-79. カラーバー

項目	内容	設定値( _ は初期値)
カラーバータイプ	使用するカラーバーを設定	SMPTE  FULL 
テストトーン	カラーバー表示時に 1KHz の基準音声を出力するかの設定	入, 切

## 3-1-80. LED

項目	内容	設定値( _ は初期値)
タリーLED	タリーランプを点灯させるかどうかの設定	フロント, リア, <u>両方</u> , 切
カードアクセス LED	メモリーカードのアクセスランプを点灯させるかどうかの設定	<u>入</u> , 切

## [その他] メニュー

## 3-1-81. 時計

項目	内容	設定値( _ は初期値)
時計設定	内蔵カレンダーと時刻の設定	---
タイムゾーン	時計設定に時差を加えた時刻を設定	工場出荷値: +0:00
年月日の表示順	カレンダーの年月日の表示形式を設定	年-月-日, 月-日-年, 日-月-年

## 3-1-82. USB デバイス

項目	内容	設定値( _ は初期値)
カードリーダーモード	本機をパーソナルコンピューターなどとUSBケーブルで接続してカードリーダーとして使用する際に実行	はい, いいえ
サービスモード	本機をサービスモードへ切り換えます	はい, いいえ

## 3-1-83. 本体情報

項目	内容	設定値( _ は初期値)
バージョン	次の情報を表示 品番, シリアル番号, ネットワーク ID(MAC アドレス), ファームウェアバージョン	---
操作時間	通電時間を表示	---
アップデート	ファームウェアのアップデート時に使用	---

本機のファームウェアは、下記サポートサイトよりダウンロードいただけます。

[http://panasonic.biz/cns/sav/pass\\_j](http://panasonic.biz/cns/sav/pass_j)

## 3-1-84. LANGUAGE

項目	内容	設定値( _ は初期値)
LANGUAGE	表示言語を設定。オプションメニュー > AREA SETTINGS のエリア設定により、表示される内容が異なります。オプションメニューの詳細は、P. 54 参照	AREA 設定と表示の関係 AREA1: 日本語, 英語 AREA2: 表示されません AREA3: English, Español, Français AREA4: <u>English</u> , Español, Français

## 3-1-85. メニュー初期化

項目	内容	設定値( _ は初期値)
メニュー初期化	メニューの設定値を工場出荷値に戻します	はい, いいえ

## [オプション] メニュー

将来的な機能追加などを考慮した、メニューページを準備しています。本体の **EXIT ボタン** を押しながら **MENU ボタン** を押すことで表示されます。また本項目は一部の海外仕様モデルでは表示されません。



## 3-1-86. AREA SETTINGS

項目	内容	設定値 (□は初期値)
AREA SETTINGS	本機をご使用前に使用する地域の選択	<u>AREA1</u> : 日本 AREA2: 台湾、韓国 AREA3: アメリカ合衆国、カナダ、中南米地域 AREA4: 上記以外のアジア地域、オセアニア、インド



AREA SETTINGS 設定による各設定値の変化

設定項目	AREA1	AREA2	AREA3	AREA4
システム周波数	59.94Hz	59.94Hz	59.94Hz	50.00Hz
記録フォーマット	1080-59.94i/422 ALL-I 100M	1080-59.94i/422 ALL-I 100M	1080-59.94i/422 ALL-I 100M	1080-50.00i/422 ALL-I 100M
年月日の表示順	年-月-日	年-月-日	月-日-年	日-月-年
ヘッドルーム	20dB	20dB	20dB	18dB
LANGUAGE	日本語, English	English に固定。 言語選択メニュー 一非表示。	English, Español, Français	English, Español, Français

## 4. 機能を使いこなす

AG-CX350

#### 4-1. ライブストリーミング機能(Youtube, Facebook)を使いこなす

本機は、RTSP、RTMP、RTMPs プロトコルによるHDライブストリーミング機能を搭載しています。Youtube社や Facebook 社などのライブ配信機能を用いて映像・音声の配信が可能です。(別途、Youtube または Facebook アカウントならびにネットワーク接続環境をご準備ください。)



##### \*1 確認済みライブ動画配信サービス情報

[https://panasonic.biz/cns/sav/service\\_support/live\\_video/index.html](https://panasonic.biz/cns/sav/service_support/live_video/index.html)

##### 必要なもの

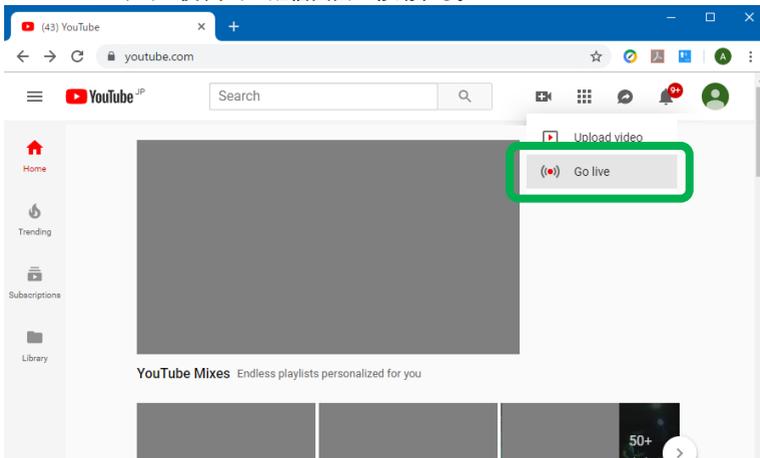
No	名称	備考
1	AG-CX350 本体	
2	P2 Network Setting ソフトウェア (Win アプリケーション)	Youtube などライブ配信システムに接続するための配信設定情報生成に使用。下記サポートサイトよりダウンロード(無償提供)ください。 <a href="https://eww.pass.panasonic.co.jp/pro-av/support/content/download/Jp/jp2main/nw_setting.jhtm">https://eww.pass.panasonic.co.jp/pro-av/support/content/download/Jp/jp2main/nw_setting.jhtm</a>
3	SD メモリーカード	配信設定情報のコピー(PC→カメラ)に使用
4	ネットワーク接続環境	無線 LAN 接続の場合は、ワイヤレスモジュール(別売)が必要(*2)

##### \*2 動作検証済みワイヤレスモジュール情報

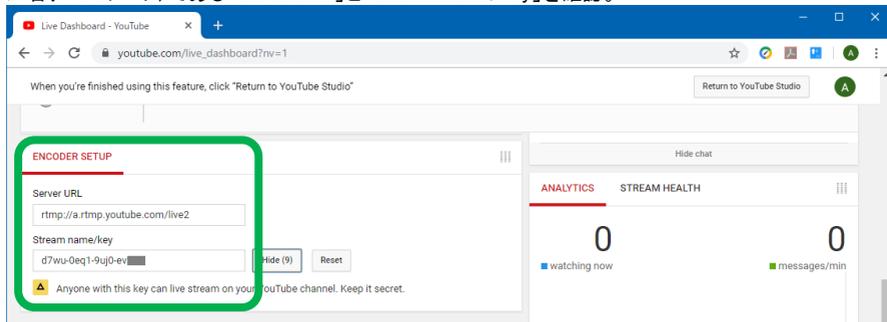
[https://panasonic.biz/cns/sav/p2/server/wireless\\_module.html](https://panasonic.biz/cns/sav/p2/server/wireless_module.html)

##### 準備(Youtube を使用した配信の例)

1. Youtube にログイン後、ライブ配信画面に移動する。



2. ライブ配信画面 → ENCODER SETUP にて、AG-CX350 からアクセスするための情報 (URL、ログイン名、パスワード) である「Server URL」と「Stream name/key」を確認。



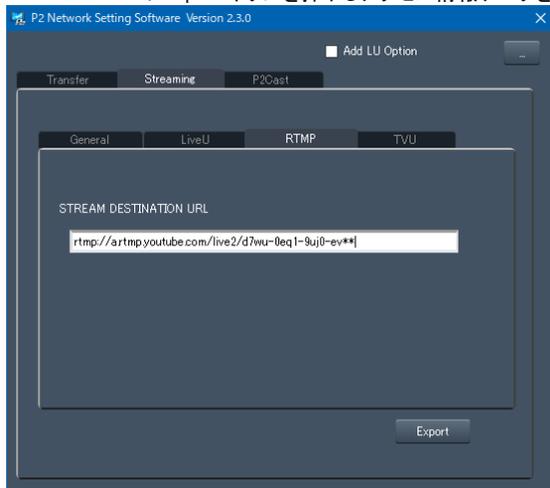
Youtube ライブ配信設定画面の例

以下の手順でアクセス情報を AG-CX350 本体にインポートします。

3. [https://www.pass.panasonic.co.jp/pro-av/support/content/download/JP/jp2main/nw\\_setting\\_j.htm](https://www.pass.panasonic.co.jp/pro-av/support/content/download/JP/jp2main/nw_setting_j.htm) より P2 Network Setting ソフトウェア (Windows アプリケーション) をダウンロードし、解凍してできた実行ファイル “P2netGen.exe” を実行します。
4. P2netGen.exe を実行しているパソコンに SD メモリーカードをマウントします。
5. “Streaming” → “RTMP” のタブを選択し、STREAM DESTINATION URL のフィールドに先程の “URL”, “Stream name/key” 情報を “/” (スラッシュ) 区切りで続けて入力します。



6. P2netGen.exe の Export ボタンを押下しアクセス情報データを SD カードへ保存する。



## AG-CX350 ネットワーク設定を行う

7. 無線/有線接続で設定内容が異なります。

## 無線 LAN 接続時の設定

設定項目	設定値
MENU > ネットワーク >	
デバイス選択	無線 LAN
MENU > ネットワーク > 無線プロパティ	
タイプ	インフラ(選択) または インフラ(手動)
SSID	任意の文字列を入力 (初期設定: AG-CX350)
帯域	使用するワイヤレスモジュールによって切換 2.4GHz / 5GHz
チャンネル (2.4GHz)	オート
チャンネル (5GHz)	オート
暗号化キー	タブレット端末から本機へ接続するときに入力するキー(パスワード)の設定です。任意の文字列を入力します。 (初期設定: 01234567890123456789abcdef)
MENU > ネットワーク > 無線プロパティ > IPv4 設定	
DHCP	クライアント または 切 (使用環境に応じて設定)
IP アドレス	使用環境に応じて設定 (初期設定: 192.168.0.1)
サブネットマスク	使用環境に応じて設定 (初期設定: 255.255.255.0)
デフォルトゲートウェイ	使用環境に応じて設定 (初期設定: 192.168.0.254)

## 有線 LAN 接続時の設定

設定項目	設定値
MENU > ネットワーク >	
デバイス選択	LAN
MENU > ネットワーク > LAN プロパティ > IPv4 設定	
DHCP	クライアント または 切 (使用環境に応じて設定)
IP アドレス	使用環境に応じて設定 (初期設定: 192.168.0.1)
サブネットマスク	使用環境に応じて設定 (初期設定: 255.255.255.0)
デフォルトゲートウェイ	使用環境に応じて設定 (初期設定: 192.168.0.254)

8. 準備の項にて、接続先データを保存した SD カードを AG-CX350 のカードスロット 1 にマウントします。
9. 以下の手順でデータをカメラ内にロードします。

MENU > ネットワーク > ストリーミング > ロード(SD カード)

10. ストリーミング配信を行うために必要な以下の項目を設定します。

設定項目	設定値
MENU > ネットワーク >	
ネットワーク機能	ストリーミング
MENU > ネットワーク > ストリーミング	
ストリーミングフォーマット	配信フォーマットを選択します。利用可能なフォーマットはシステム設定によって変化します。 詳細は、 6-5. ストリーミングフォーマット(RTMP 形式)について(P.89)を参照ください。
接続情報	SD カード
開始トリガー	カメラ

11. AG-CX350 本体を無線/有線 LAN 経由でネットワークに接続します。
12. MENU > ネットワーク > ストリーミング > 開始 項目を“入”に設定し配信を開始します。開始機能は USER ボタンへの割り付けすることも可能です。(項目名:ストリーミング開始)

**\* ライブストリーミングのトラブルシュートは、次頁を参照ください。**

## ライブストリーミングのトラブルシューティング

現象	主な原因と対処
<p>ストリーミングを開始しても“切”に戻ってしまう。</p>	<p>カメラがライブ配信のサーバーに到達できていない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ネットワーク接続設定は正しいですか？</li> <li>・ 接続情報(ServerURL, Stream name/key)は正しい内容が登録されていますか？</li> <li>・ ストリーミングで使用するポート(TCP1935)が途中の経路でブロックされていませんか？</li> </ul> <p>ストリーミングの状態は、内蔵 LCD 画面右上のアイコンで確認可能。</p> <p> 本機はストリーミング映像を受信する機器と接続され、ストリーミング映像を配信しています。</p> <p> ストリーミング機能が有効で、正常に動作できる状態でストリーミング映像を配信していません。</p> <p> ストリーミング機能に異常が発生し、動作できない状態です。</p>
<p>MENU &gt; ネットワーク &gt; ネットワーク機能項目がグレーアウトしており“ストリーミング”項目が選択できない</p>	<p>他の設定によりストリーミング機能を利用できない状態となっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ MENU &gt; システム &gt; 記録フォーマットが UHD に設定されていませんか。ストリーミング機能は HD モード時のみ有効です。</li> <li>・ MENU &gt; 記録 &gt; 2 スロット機能 &gt; バックグラウンド記録が有効になっていませんか？</li> <li>・ MENU &gt; システム &gt; ファイルフォーマットが AVCHD になっていませんか？ AVCHD 時はストリーミング機能をご利用になれません。</li> <li>・ MENU &gt; システム &gt; スーパースローが入っていませんか？ スーパースローモード中はストリーミング機能をご利用になれません。</li> </ul>

## 4-2. 映像をモニター/記録する

本機は、HDMI 出力端子および SDI(3G-SDI 対応)出力端子を装備しており、それぞれ異なる出力解像度を設定し同時に出力することが可能です。



### SDI 出力の設定

1. MENU > システム > システム周波数
2. MENU > システム > 記録フォーマット
3. MENU > 映像出力/LCD/VF > SDI出力 > 出力フォーマット

出力される映像のフォーマットは、本体のシステム設定、出力設定によって変化します。詳細は、6-3. 外部出力時の出力解像度一覧(SDI) (P.87)を参照してください。

### HDMI 出力の設定

1. MENU > システム > システム周波数
2. MENU > システム > 記録フォーマット
3. MENU > 映像出力/LCD/VF > HDMI出力 > 出力フォーマット

出力される映像のフォーマットは、本体のシステム設定、出力設定によって変化します。詳細は、6-4. 外部出力時の出力解像度一覧(HDMI) (P.88)を参照してください。

### 4-3. フォーカスアシスト機能を使いこなす

本機では、次の2種類のフォーカスアシスト機能を装備しています。USER ボタンまたは FOCUS ASSIST ボタンにあらかじめ割り当てて使用します。

#### 拡大表示



映像を x2, x3, x4 倍に拡大します。映像を拡大している期間も次のパターンから選択可能。

#### 使用するには

1. 任意の USER ボタンへ“拡大表示”を割り付ける(または MENU > 映像出力/LCD/VF > フォーカスアシスト > フォーカスアシストスイッチ項目で拡大表示を設定)。
2. 拡大表示モードの設定  
MENU > 映像出力/LCD/VF > フォーカスアシスト > 拡大表示モード  
[10 秒] 10 秒間だけ拡大  
[継続] 再度 USER ボタンを押すまで拡大  
[記録開始まで継続] 記録動作に入るまで拡大
3. 拡大率の設定。  
MENU > 映像出力/LCD/VF > フォーカスアシスト > 拡大率 [x2] [x3] [x4]
4. 機能を割り付けた USER ボタン(または FOCUS ASSIST ボタン)を押す。

#### ピーキング



ピントが合っている箇所の輪郭を強調します。強調表示の強弱および色を変更可能。

右図のように拡大表示した映像にピーキングを付加することも可能です。

#### 使用するには

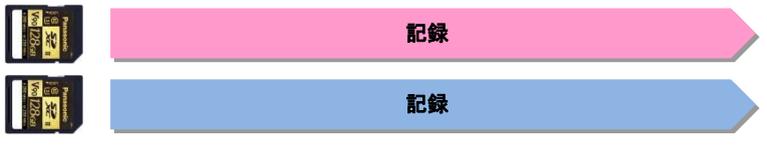
1. 任意の USER ボタンへ“ピーキング”を割り付ける(または MENU > 映像出力/LCD/VF > フォーカスアシスト > フォーカスアシストスイッチ項目でピーキングを選択)。
2. 強調表示の強弱を設定  
MENU > 映像出力/LCD/VF > フォーカスアシスト > ピーキングレベル
3. 強調表示の色を設定。  
MENU > 映像出力/LCD/VF > フォーカスアシスト > ピーキングカラー [赤], [緑], [白]  
ピーキング表示中に映像をモノクロにしたい場合  
MENU > 映像出力/LCD/VF > フォーカスアシスト > モノクロ表示項目を 入 に設定。
4. 機能を割り付けた USER ボタン(または FOCUS ASSIST ボタン)を押す。

#### 4-4. デュアルカードスロットを使いこなす

本機はメモリーカードスロットを2基備えており、それを活かした様々な記録が可能です。

##### サイマル(同時)記録

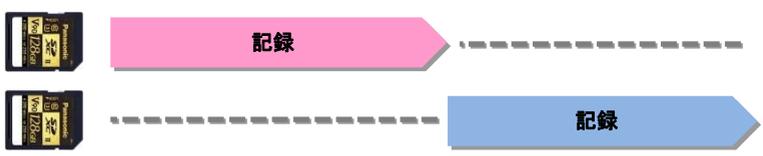
二つのメモリーカードへ同じ内容を記録するモードです。記録中に一方のメモリーカードにエラーが発生し停止した場合でも、もう一方は記録を継続します。



- 一方のメモリーカードの記録残量不足で停止した場合、もう一方の記録も停止します。
- サイマル記録ではスピードクラスや容量が同じメモリーカードを使用することをお勧めします。
- スピードクラスや容量が異なるメモリーカードを使用するとスピード不足により記録が停止することがあります。記録停止した場合、停止直前の映像は不正規な記録になることがあります。

##### リレー記録

撮影中にメモリーカード容量が一杯になった時にもう一方のメモリーカードへ続けて記録するモードです。長時間の連続撮影に適しています。記録中にもう一方のカードを交換することも可能です。



\* リレー記録の最大連続記録時間は10時間です。記録時間が10時間を超えると、記録を一度停止します。数秒後、自動的に記録が再開されます。

##### バックグラウンド記録

Slot1のメモリーカードで記録/一時停止を繰り返しながら、もうSlot2のカードを記録し続ける(ベタ撮り)モードです。撮り逃し防止に便利です。



\* Slot2の記録を停止するには、「バックグラウンド記録停止」機能を割り付けたUSERボタンを5秒間長押しします。

2スロット機能を使うには？

MENU > 記録 > 2スロット機能 > サイマル記録、リレー記録、バックグラウンド記録

#### 4-5. マルチカメラ収録用などにタイムコード設定値を同期する

本機は、TC IN/OUT 端子を 1 系統装備。これを使用しタイムコード設定値を他の機器と合わせる手順を説明します。(TC 供給/受信機ともに AG-CX350 として説明。)



#### 準備

1. TC 供給機と受信機の TC IN/OUT 端子を BNC ケーブルで接続。
2. TC 供給/受信機ともに以下の設定が同じであることを確認。

MENU > システム > システム周波数  
MENU > システム > 記録フォーマット

#### TC 供給機の設定

1. MENU > 記録 > TC/UB > TC 入出力選択項目を「TC 出力」に設定。
2. MENU > 記録 > TC/UB > DF/NDF 項目を「DF」または「NDF」に設定。  
\* FREQUENCY 設定が 23.98p, 24.00p, 25.00p, 50.00p, 50.00i の場合は NDF のみ選択可能。

#### TC 受信機の設定

1. MENU > 記録 > TC/UB > フリーラン/レックラン項目を「フリーラン」に設定。
2. MENU > 記録 > TC/UB > TC 入出力選択項目を「TC 入力」に設定。



TC IN/OUT 端子

#### NOTE:

本機にはゲンロックシステムがないため、タイムコードは 1 フレームずれる場合があります。

TC 受信側は記録待機中に外部入力タイムコードにロックさせます。記録中は外部入力のタイムコードにロックせずに内部基準でタイムコードを歩進します。

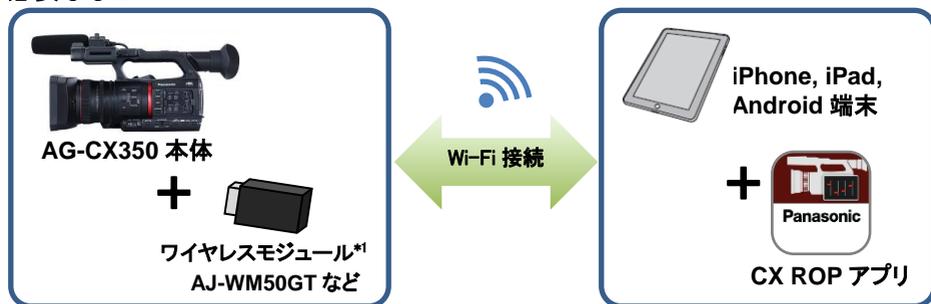
電源をバッテリーから AC アダプターへ切り替える際は、AC アダプター接続マーク(☑)が表示されてからバッテリーを取り外してください。タイムコードの連続性が保たれなくなる場合があります。

## 4-6. リモート操作アプリ(Panasonic CX ROP)を使いこなす

弊社より無償提供の iPhone/iPad/Android アプリを使用して Wi-Fi 経由でのリモート操作が可能です。



### 必要なもの



\*1 動作検証済みワイヤレスモジュール情報はこちら:

[https://panasonic.biz/cns/sav/p2/server/wireless\\_module.html](https://panasonic.biz/cns/sav/p2/server/wireless_module.html)

### セットアップの概要

1. Apple App Store または Google Play から Panasonic CX ROP アプリをダウンロードし、モバイル端末へインストールする。
2. AG-CX350 本体後面の USB2.0 HOST 端子へワイヤレスモジュール(別売品)を接続する。
3. カメラの Wi-Fi 設定を行う。
4. モバイル端末の Wi-Fi 設定を行い、端末をカメラへ接続する。
5. Panasonic CX ROP アプリを開く。

## セットアップ手順例:

## カメラ側の設定、操作

1. カメラ本体後面の USB2.0 HOST 端子へワイヤレスモジュール(別売品)を接続する。
2. 無線 LAN の有効化設定を行う。MENU > ネットワーク > デバイス選択 > 無線 LAN
3. 次の Wi-Fi 接続関連の設定を行う。

設定項目	設定値
<b>MENU &gt; ネットワーク &gt; 無線プロパティ</b>	
タイプ	ダイレクト
SSID	任意の文字列を入力 (初期設定: AG-CX350)
帯域	使用するワイヤレスモジュールによって切換 2.4GHz / 5GHz
チャンネル (2.4GHz)	オート
チャンネル (5GHz)	オート
暗号化キー	タブレット端末から本機へ接続するときに入力するキー(パスワード)の設定です。任意の文字列を入力します。 (初期設定: 01234567890123456789abcdef)
<b>MENU &gt; ネットワーク &gt; 無線プロパティ &gt; IPv4 設定</b>	
DHCP	サーバー
IP アドレス	使用環境に応じて設定 (初期設定: 192.168.0.1)
サブネットマスク	使用環境に応じて設定 (初期設定: 255.255.255.0)
デフォルトゲートウェイ	使用環境に応じて設定 (初期設定: 192.168.0.254)

4. 次の接続アカウント関連の設定を行う。(MENU > NETWORK SETTINGS > NETWORK FUNK)

設定項目	設定値
<b>MENU &gt; ネットワーク &gt; IP リモート</b>	
有効/無効	IP 経由の外部リモートを可能にする項目です。有効に設定します。
ユーザーアカウント	CX ROP アプリからの認証に使用するアカウント名とパスワードを設定します。  アカウント名: 31 文字以内 パスワード: 8 文字以上、15 文字以内  * 予め用意されたアカウントはありません。任意のアカウントを作成してください。

## 端末設定、操作(例: Apple iPad)

1. iPad へ Panasonic CX ROP アプリをインストールする。
2. 設定  > Wi-Fi: ON 項目にてカメラの SSID(例: AG-CX350)を選択。接続キー(初期設定: 01234567890123456789abcdef)を入力し iPad をカメラへ接続する。
3. Panasonic CX ROP アプリを iPad にて開きます。アプリ画面左上の  ボタンをタップし、カメラ 本体の IP アドレス、UserID(要事前設定)および Password(要事前設定)を入力しカメラへの認証設定を完了します。(図 1 参照)
4. カメラの接続状態アイコンが、 となっていることを確認。
5. CX ROP アプリより操作を行う。

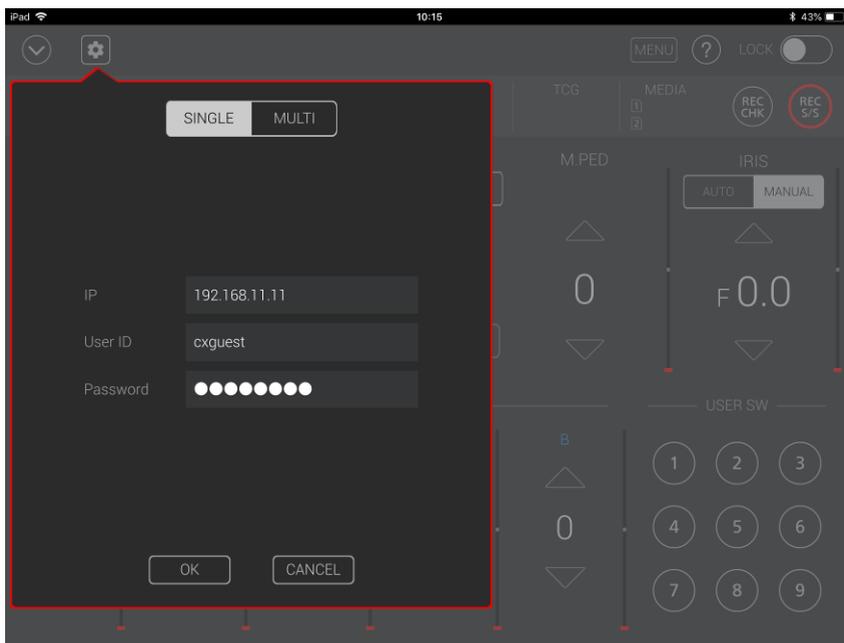


図 1 Panasonic CX ROP アプリの初期接続設定の例

### カメラ側の接続状態アイコン

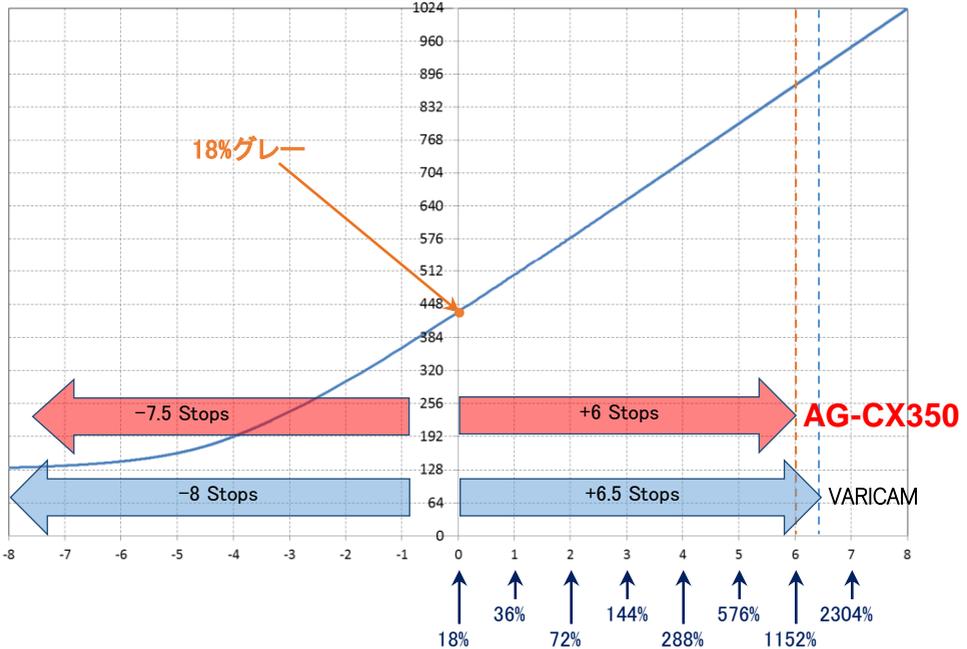
	無線 LAN に設定され未接続の状態
	無線 LAN に設定され ROP へ接続していない状態
	無線 LAN に設定され ROP へ接続された状態

#### 4-7. V-Log 使用時に露出アシストとしてスポットメーター機能を使いこなす

Y GET (スポットメーター)機能を使用\*することで、被写体の映像レベルの計測や標準露出を決めるための STOP を簡単に求めることができます。

##### 概要、設定

幅広いラチテュード(露光範囲)と諧調が得られるガンマカーブである V-Log カーブ(撮影後のグレーディング処理が必要です)をファームウェアバージョン 3.0 より利用可能です。V-Log のカーブ特性を下図に示します。このカーブは VARICAM35, LT などのバリカムシリーズと同じ特性で設計されており、VARICAM シリーズと同様のハンドリング、同じ LUT の使用などが可能です。表現可能なダイナミックレンジは、13.5 ストップ(参考: VARICAM は 14+ストップ)となります。



AG-CX350 の V-Log カーブ特性(カーブ自体は VARICAM シリーズと同様)

標準露出は反射率 18% グレーを撮像したときのコード値(1024 諧調)で 433 となります。(IRE では 42%)

Input reflection [%]	IRE [%]	V-Log	
		10bit Code value	12bit Code value
0	7.3	128	512
18	42	433	1732
90	61	602	2408

**パーセント(%)表示を使った、標準露出の合わせ方例**

1. 次のメニュー項目にて表示単位を設定します。

メニュー > 映像出力/LCD/VF > 露出アシスト > Y GET 表示単位 > %

2. Y GET (スポットメーター)機能を割り付けた USER ボタンを押して機能を ON にします。
3. 画面中央付近に表示される白枠をレベルを計測したい被写体(18%グレーなど)に合わせます。
4. 計測値が 42%になるよう、レンズ絞り・シャッター・ゲイン/ISOなどを調節します。

**ストップ(STOP)表示を使った、標準露出の合わせ方例**

1. 次のメニュー項目にて表示単位を設定します。

メニュー > 映像出力/LCD/VF > 露出アシスト > Y GET 表示単位 > STOP

2. Y GET (スポットメーター)機能を割り付けた USER ボタンを押して機能を ON にします。
3. 画面中央付近に表示される白枠を露出を計測したい被写体(18%グレーなど)に合わせます。
4. 計測値が 0.0STOPになるよう、レンズ絞り・シャッター・ISOなどを調節します。

\* USER ボタンへの機能割付けに関する詳細は、2-5-1. ユーザースイッチ機能を割り付ける (P.18)を参照ください。

\* V-Log モード中はゼブラ機能が無効になります。

## 4-8. ファームウェアの更新手順

1. ファームウェアパッケージをサポートサイト([https://panasonic.biz/cns/sav/pass\\_j](https://panasonic.biz/cns/sav/pass_j))からダウンロードします。
2. ダウンロードした ZIP パッケージを解凍してできたファームウェア(UPDATE.HDC ファイル)を SD メモリーカードのルートディレクトリ(最上位階層)にコピーします。



3. UPDATE.HDC ファイルをコピーした SD メモリーカードを本機の**カード SLOT1 にマウント**します。
4. **MENU > その他 > 本体情報 > アップデート** を選択しファームウェア更新を実行します。



5. MENU > その他 > 本体情報 > バージョン で更新されたバージョン情報を確認します。

## アップデートできない場合(トラブルシューティング)

不具合(エラー)内容	チェックポイント、原因と対処
メニュー>その他>本体情報>アップデート  カードを確認してください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ファイル名が元の名称(UPDATE.HDC)から変更されていませんか？(例:UPDATE.HDC2, UPDATE.HDC-1 など)名称変更されたファイルは使用できません。</li> <li>・ メモリーカードは SLOT1 にマウントされていますか？SLOT2 では動作しません。</li> <li>・ UPDATE.HDC ファイルは、メモリーカードのルートディレクトリにコピーされていますか？</li> </ul>

## 5. 画質調整の効果

AG-CX350

本機は、各種撮影シーンに備えた 6 種類の映像設定プリセット(シーンファイル)を装備しています。全てのプリセットの各映像設定項目は、お好みに合わせたカスタマイズも可能です。

### 5-1. シーンファイルプリセット一覧

シーン番号	使用を推奨する撮影シーンの例
F1:	標準設定
F2: FLUO	蛍光灯の特性を考慮した撮影(屋内など)に適したプリセットです。ほとんどの設定が F1 と同等で、マトリックスが蛍光灯用の設定です。 屋白色など自然光に近い色温度の蛍光灯下では特に必要ありませんが、青味の強い蛍光灯の下で色再現性が悪い条件下で撮影を行う場合などに適しています。
F3: SPARK	色合い、コントラストにメリハリをつけたい時の設定です。色彩の強い明るい派手なイメージの映像になります。
F4: B.STR	暗い部分の階調を広げた撮影(夕暮れなどの撮影)に適したファイル 暗部が見えにくい時や、夕暮れシーン、劇場シーンや結婚式で明るい場面と、暗い場面の両方の詳細を見せたい時に使用すると効果的です。
F5: CINE	マトリックスおよびガンマが映画撮影に適した設定になっています。映画感覚の撮影に適した色を表現します。
F6: HLG	HDR での撮影機能です。人間の目に近い、高コントラストで自然な階調での撮影が可能です。

各プリセットのメニュー設定値一覧は、6-2. シーンファイル設定一覧 (P.85)を参照ください。

V-Log 撮影モード時は、記録モードの特性上、シーンファイルの各種調整項目をご利用になれません。

## 5-2. 映像の質感をあやつる(ディテール調整)

被写体の光沢や質感をより自然に表現するにはディテール調整(輪郭補正量の調整)が有効です。下図は、画面全体のディテールであるマスターディテールの調整結果です。建物の軒(木目)や屋根(金属)の質感がディテール調整によって変化しています。

マスターディテール: +31



マスターディテール: -31



### 5-3. 基本的なディテールの設定

MENU > シーンファイル (下線 \_\_\_ は工場出荷設定)

**マスターディテール -31...0...31**

全体的なディテール効果の程度を調整します。

**ディテール コアリング 0...1...60**

ディテール効果を働かせないようにする信号(ノイズを含む)のレベルを設定します。

より詳細な設定: MENU > シーンファイル > ディテール設定 (下線 \_\_\_ は工場出荷設定)

**ディテール 入 / 切**

ディテールを付加 する/しない の選択をします。

**V ディテールレベル -7...0...7**

垂直方向のディテールレベルの強弱を設定します。

**ディテールフリクエンスー -7...0...7**

ディテールの太さを設定します。

**レベルディペンデント -7...0...7**

輝度信号のディテールを強調しているときは暗部のディテールを圧縮しています。

設定が大きいほど、明るい部分のディテールも圧縮する設定となります。

**ニーアパーチャーレベル 0...2...5**

高輝度部(非常に明るい部分)のディテールレベルを設定します。

**ディテールゲイン (+) -31...0...31**

+ 方向(明るくする方向)のディテールレベルを独立して設定します。

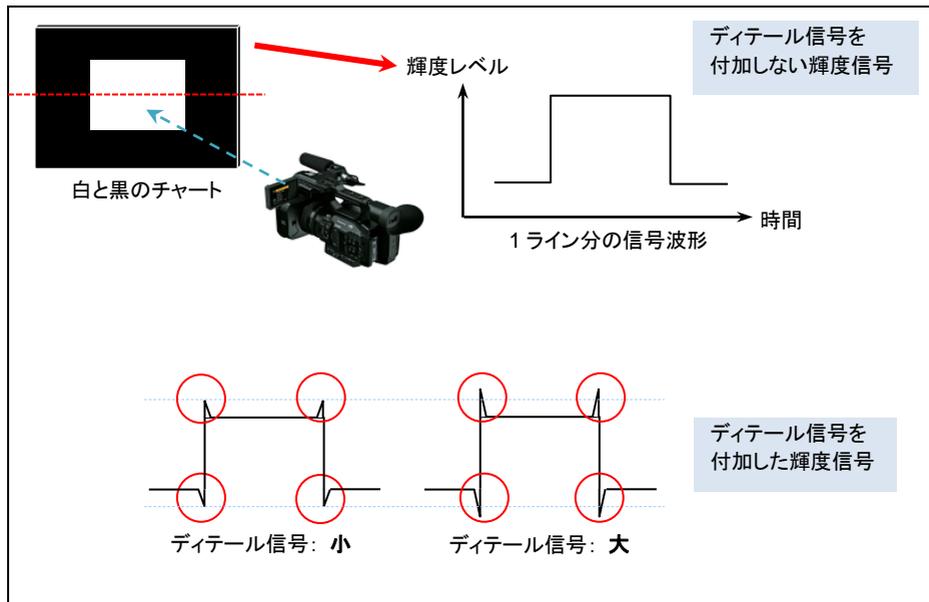
**ディテールゲイン (-) -31...0...31**

- 方向(暗くする方向)のディテールレベルを独立して設定します。

### 5-3-1. ディテール調整

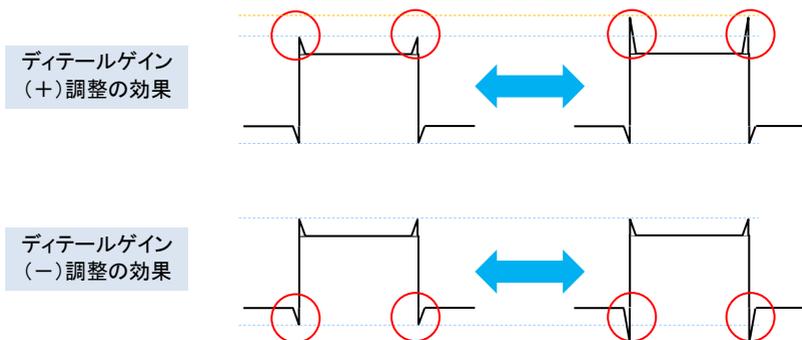
映像信号に付加されるディテール(輪郭)信号のレベルを調整します。

ディテールレベルを上げると、映像信号のエッジ部分の信号が大きくなり、映像の輪郭がシャープな画質になります。ディテールレベルを下げると、映像信号のエッジ部分の信号が小さくなり映像の輪郭の強調が抑えられたソフトな画質になります。



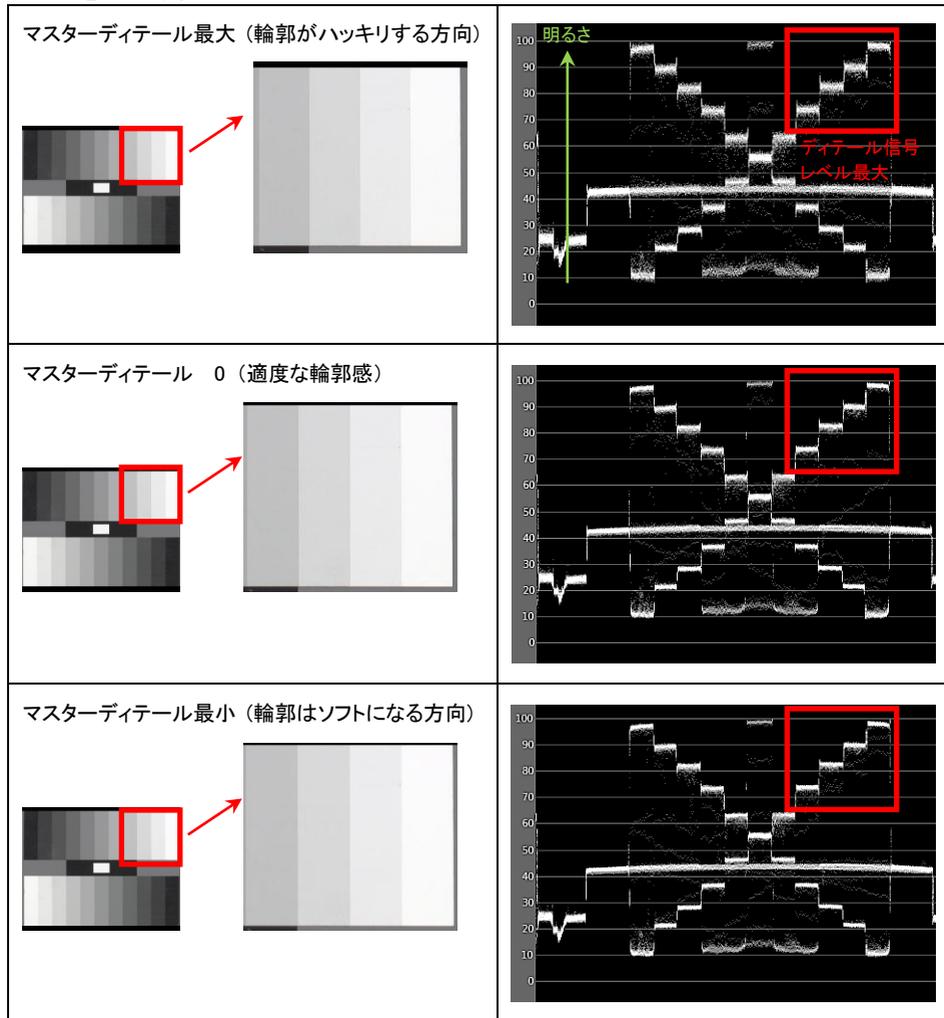
### 5-3-2. ディテールゲイン(+)(-)調整

本機は、ディテール信号の正方向(映像が明るい方)と負方向(映像が暗い方)それぞれのレベルを調整するディテールゲイン(+)(-)調整を備えています。



## 5-3-3. マスターディテール調整

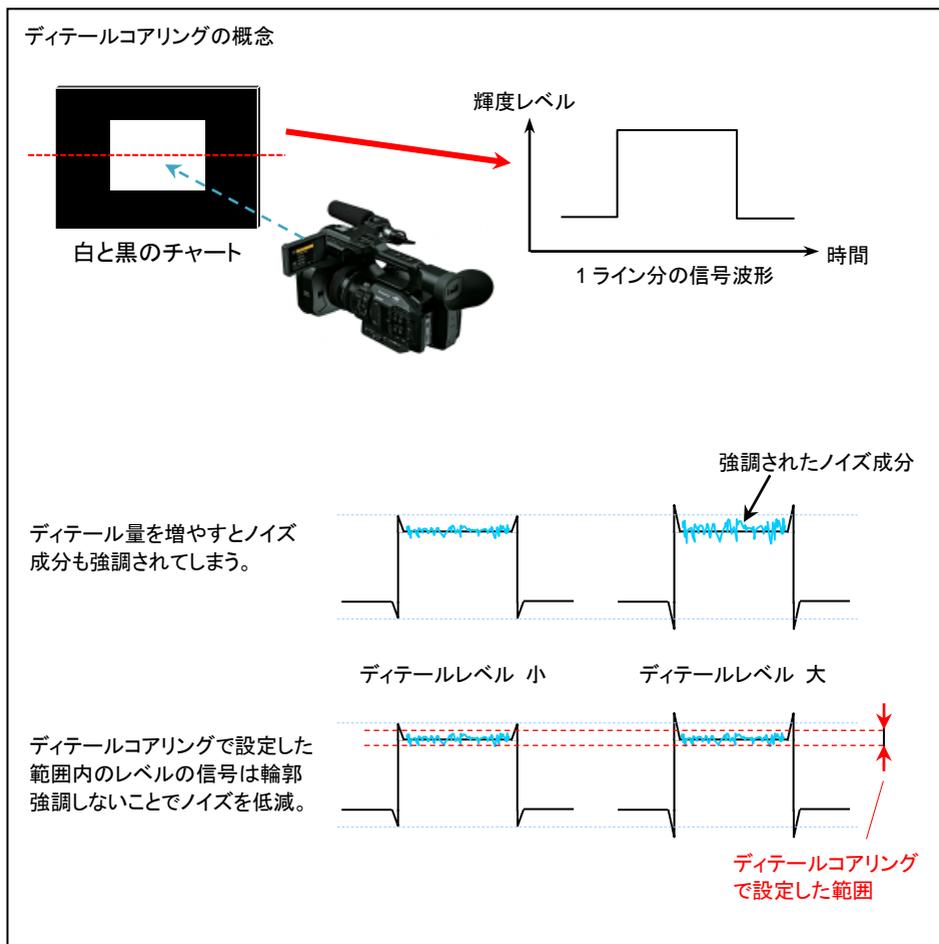
ディテール信号を正負方向ともに調整するにはマスターディテール項目を調整します。以下に効果のイメージを示します。



## 5-3-4. ディテールコアリング調整

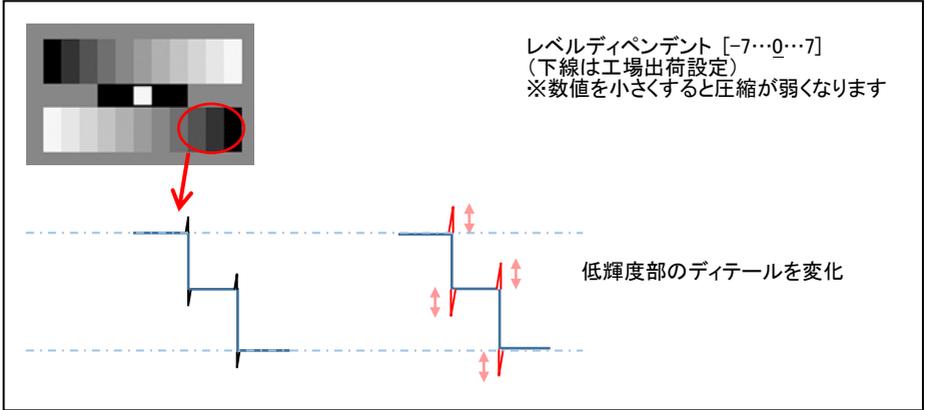
輪郭を強調すると鮮明な画像表現ができる一方、映像全体が粗くなることがあります。これは付加されるディテール信号が、ノイズなどの低いレベルの信号にも作用するためです。

ディテールコアリング機能により、ディテール信号を付加する適用範囲を調整しディテール調整によるノイズを軽減することができます。



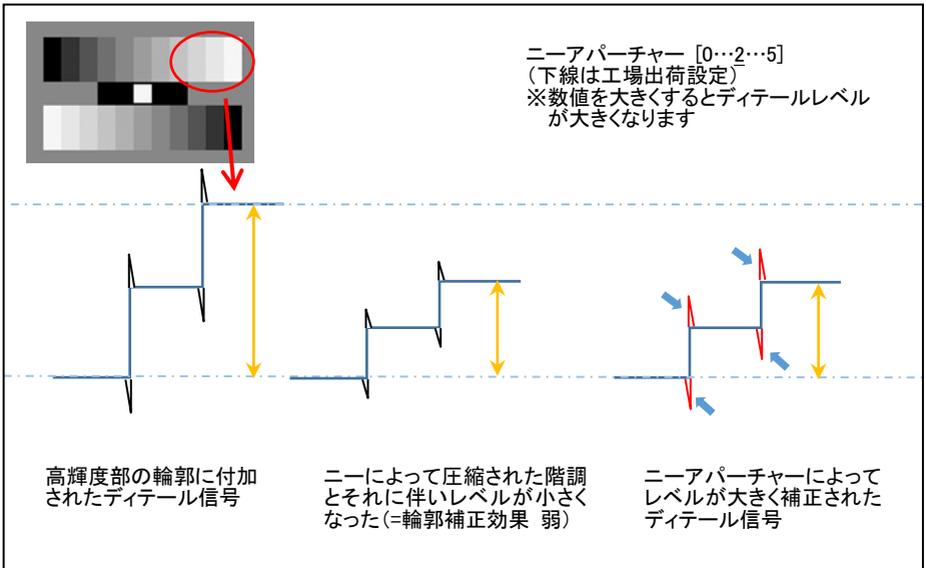
## 5-3-5. レベルディペンデント調整

輝度信号のディテールを強調すると暗部のノイズが目立つため、高輝度部に比べて低輝度部のディテールを圧縮しています。レベルディペンデント機能により、低輝度部の圧縮度を変えて暗部のディテールを調整できます。



## 5-3-6. ニーアパーチャーレベル調整

白トビを防ぐためなどで高輝度部の階調をニー調整(後述)にて圧縮するとそれに伴ってディテールの信号も一緒に圧縮されるため、高輝度部の輪郭感が失われる場合があります。その場合はニーアパーチャーレベル調整にて失われたディテールを補正することが可能です。



## 5-4.映像の階調を表現する(ニー, ガンマモード設定)

### 5-4-1. ニー調整

晴天時の屋外やライティングにより明るい部分がつぶれて見える、白トビが起こる場合があります。これは、この部分の輝度信号がカメラのダイナミックレンジ(処理範囲)を超えているために起こる現象です。こうした高輝度信号をカメラの処理範囲内に収めるためにニー調整機能を使って階調を圧縮することができます。

MENU > シーンファイル > ( \_\_\_ は初期設定)

[ニーモード] **AUTO** / MANUAL / 切

AUTO: 受光した信号のレベルに応じて自動でマスターポイント、スロープを調整します。

MANUAL: マスターポイント、マスタースロープが任意に調整可能になります。

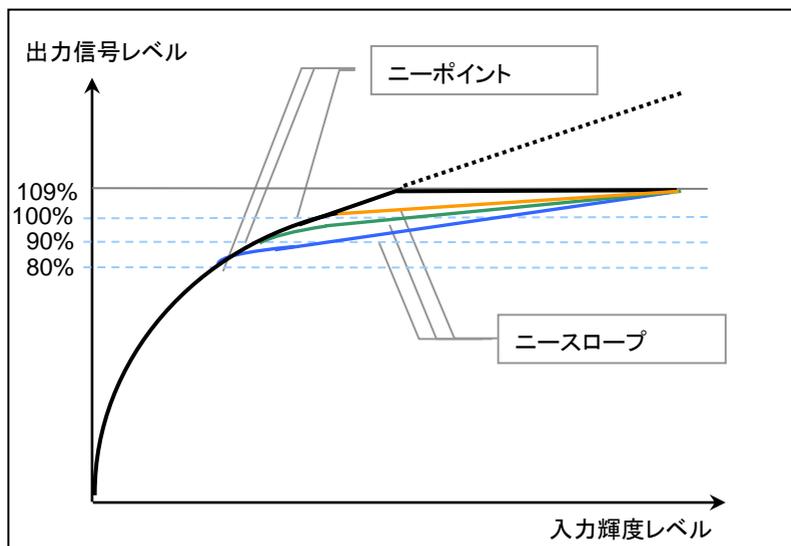
切: ニー機能を使用しません。

[ニーマスターポイント] 80.0...93.0...107.0

圧縮開始点を設定します。

[ニーマスタースロープ] 0...85...99

マスターポイントからダイナミックレンジの最大値に至る傾斜の角度を設定します。



図は、説明のためのイメージで、実際の測定値とは異なります

ニーマスターポイント: 107% (ニーポイントの設定をあげると高輝度部の階調は白く飛ぶ方向)



ニーマスターポイント: 93.0%

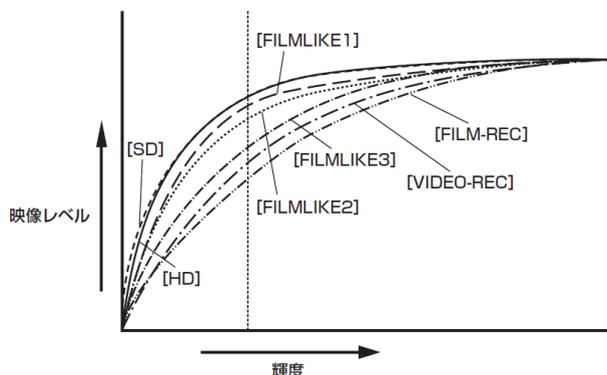


ニーマスターポイント: 80.0% (ニーポイントを下げることにより高輝度部分の階調が見えてくる)



### 5-4-2. ガンマモード設定

目で見た自然な色合いやメリハリが、映像で十分に表現できていないことがあります。このような場合、出力信号の階調を調整することが有効です。被写体に応じて適切なガンマカーブを選択します。AG-CX350 では 8 種類のガンマカーブが用意されています。



#### HD

HD(High Definition)用のビデオガンマ特性です。ARIB、EBU、SMPTE などで決められた設定に準拠しているガンマ設定です。HD で標準的な撮影をする場合にご使用下さい。

#### SD

HD ガンマよりも暗部のゲインがアップしています。SD モードで撮影する時や、HD 撮影でも SD 撮影に使われたガンマを、そのまま適用したい時に使用するガンマカーブです。

#### FILM LIKE 1

HD ガンマに比べ、よりハイライト部の階調を再現できる特性になっています。

#### FILM LIKE 2

[FILM LIKE 1]に比べ、よりハイライト部の階調を再現できる特性になっています。

#### FILM LIKE 3

[FILM LIKE 2]に比べ、よりハイライト部の階調を再現できる特性になっています。

#### FILM REC

ダイナミック レンジを優先して、低域から広域まで万遍なく階調を確保したガンマです。“F-RECブラックストレッチ”設定で低輝度部からブラックストレッチレベルを設定できます。

#### VIDEO REC

ビデオカメラで映画感覚の映像に仕上げるガンマカーブです。“V-RECニーポイント”設定で低輝度部からニーポイントを設定できます。

#### HLG

ハイブリッドログガンマの特性を持つガンマカーブです。

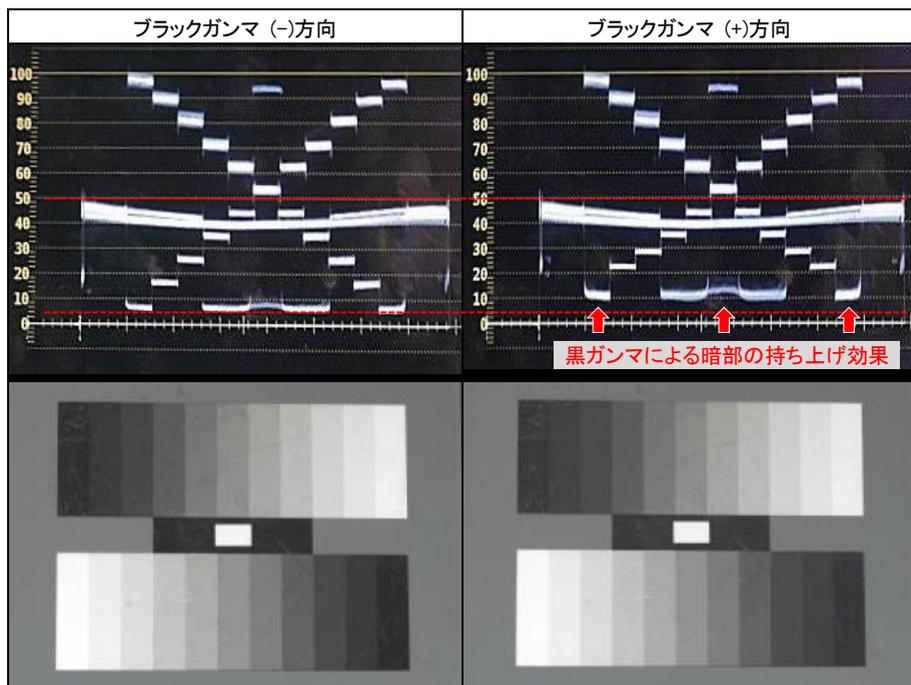
## 5-4-3. ブラックガンマ設定

映像の暗部を持ち上げたり、抑えたりすることができます。以下にブラックガンマ調整による映像変化のイメージを示します。

MENU > シーンファイル > ( \_\_\_ は初期設定)

[ブラックガンマ] -8 ... 0 ... +8

暗部のガンマカーブを設定します。



ブラックガンマ調整を活用することで黒髪の一本一本を表現したり、映像全体の明るさを変えることなく風景の日陰の部分の浮き立たせるなどの効果が得られます。

# 6. 付録

AG-CX350

## 6-1. バッテリーによる記録可能時間の目安

バッテリー品番	バッテリー定格	充電時間	連続撮影可能時間
 <b>VW-VBR59</b> (付属品)	7.28V 5900mAh, 43Wh	約 3 時間 20 分	約 3 時間 20 分
 <b>VW-VBR89G</b> (別売品)	7.28V 8850mAh, 64Wh	約 4 時間	約 5 時間 00 分
 <b>VW-VBR118G</b> (別売品)	7.28V 11800mAh, 86Wh	約 4 時間 40 分	約 6 時間 40 分
 <b>VW-VBD58</b> (別売品)	7.2V 5800mAh, 42Wh	約 5 時間 20 分	約 3 時間 10 分

- ・ 充電時間は、付属のバッテリーチャージャーを使用して充電したときの時間です。
- ・ 充電時間は、動作周囲温度25℃、動作相対湿度60%での時間です。その他の温度や湿度では充電時間が長くなる場合があります。
- ・ 充電時間は、バッテリーの充電容量を使い切ってから充電した場合の時間です。高温/低温時など使用状況によって充電時間、連続撮影可能時間は異なります。
- ・ 連続撮影可能時間は、次の条件で本機を使用したときの時間です。その他の条件では、連続撮影可能時間は短くなります。
  - メニュー設定は工場出荷時の状態
  - 液晶モニターを使用し、外部入出力端子にケーブルを接続していない状態

## 6-2. シーンファイル設定一覧

設定項目		ファイル選択					
		F1:	F2: FLUO	F3: SPARK	F4: B.STR	F5: CINE	F6: HLG
VFR		切	切	切	切	切	切
フレームレート		24fps *1 , 25fps *2					
シンクロスキャンタイプ		秒	秒	秒	秒	秒	秒
シンクロスキャン		1/60.0 *1 , 1/50.0 *2					
マスターディテール		0	0	8	0	0	0
ディテールコアリング		15	15	25	15	15	15
ディテール	ディテール	入	入	入	入	入	入
	V ディテールレベル	0	0	0	0	0	0
	ディテールフリクェンシ	0	0	0	0	0	0
	レベルディペンデント	0	0	0	0	0	0
	ニアオーバーチャーレベル	2	2	2	2	2	2
	ディテールゲイン(+)	0	0	0	0	0	0
	ディテールゲイン(-)	0	0	0	0	0	0
スキントーンディテール A,B,C		切	切	切	切	切	切
スキントーンゼブラ		入	入	入	入	入	入
スキントーン ディテール	検出テーブル	A	A	A	A	A	A
	スキントーンディテール効果	16	16	16	16	16	16
	I 軸エリア中心位置	35	35	35	35	35	35
	I 軸エリア幅	2	2	2	2	2	2
	Q 軸エリア幅	2	2	2	2	2	2
	Q 軸エリア位相	0	0	0	0	0	0
	RB ゲイン コントロール	R,B ゲイン AWB プリセット	0	0	0	0	0
R,B ゲイン AWB A		0	0	0	0	0	0
R,B ゲイン AWB B		0	0	0	0	0	0
AWB A ゲインオフセット		切	切	切	切	切	切
AWB B ゲインオフセット		切	切	切	切	切	切
色温度 A/Boh		色温度	3200K	3200K	3200K	3200K	3200K
	R ゲイン	0	0	0	0	0	0
	B ゲイン	0	0	0	0	0	0
	G 軸	0	0	0	0	0	0

\*1 MENU &gt; システム &gt; システム周波数の設定が 59.94Hz の時

\*2 MENU &gt; システム &gt; システム周波数の設定が 50.00Hz の時

## 6-2. シーンファイル設定一覧つづき

設定項目		ファイル選択					
		F1:	F2: FLUO	F3: SPARK	F4: B.STR	F5: CINE	F6: HLG
クロマレベル		0%	0%	0%	0%	0%	0%
クロマ位相		0	0	0	0	0	0
マトリックスタイプ		標準 1	蛍光灯	標準 2	標準 1	シネマライク	標準 1
アダプティブマトリックス		切	切	切	切	切	切
マトリックス	R-G	0	0	0	0	0	0
	R-B	0	0	0	0	0	0
	G-R	0	0	0	0	0	0
	G-B	0	0	0	0	0	0
	B-R	0	0	0	0	0	0
	B-G	0	0	0	0	0	0
RGB ブラック コントロール	マスターペDESTAL	16	16	16	16	16	16
	R ペDESTAL	0	0	0	0	0	0
	G ペDESTAL	0	0	0	0	0	0
	B ペDESTAL	0	0	0	0	0	0
	ペDESTALオフセット	切	切	切	切	切	切
ガンマモード選択		HD	HD	HD	HD	FILMLIKE3	HLG
ガンマ	マスターガンマ	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45
	F-REC ダイナミックレンジ	600%	600%	600%	600%	600%	600%
	F-REC ブラックストレッチ	0%	0%	0%	0%	0%	0%
	V-REC ニースロープ	500%	500%	500%	500%	500%	500%
	V-REC ニーポイント	30%	30%	30%	30%	30%	30%
	ブラックガンマ	0	0	-4	6	0	0
	ブラックガンマレンジ	1	1	2	2	1	1
ニ	ニモード	オート	オート	オート	オート	オート	オート
	オートニ応答速度	4	4	4	4	4	4
	ニポイント	93.0%	93.0%	93.0%	93.0%	93.0%	93.0%
	ニースロープ	99	99	99	99	99	99
	HLG ニースイッチ	切	切	切	切	切	切
	HLG ニーポイント	55	55	55	55	55	55
	HLG ニースロープ	10	10	10	10	10	10
ホワイト クリップ	ホワイトクリップ	入	入	入	入	入	入
	ホワイトクリップレベル	109%	109%	109%	109%	109%	109%
DRS		切	切	切	切	切	切
DRS 効果		1	1	1	1	1	1
デジタルノイズリダクション		1	1	1	1	1	1
オートアイリスレベル		入	入	入	入	入	入
オートアイリスレベル効果		0	0	0	0	0	0

## 6-3. 外部出力時の出力解像度一覧(SDI)

SDI

次の設定の組み合わせでSDI OUT端子から出力可能なフォーマットが変化します。

MENU &gt; システム &gt; システム周波数

MENU &gt; システム &gt; 記録フォーマット

MENU &gt; 映像出力/LCD/VF &gt; SDI出力 &gt; 出力フォーマット

システム周波数	項目		出力フォーマット ( __ は工場出荷設定)
	記録フォーマット		
	解像度	周波数	
59.94Hz	3840x2160	59.94p	1920x1080 59.94p, <u>1920x1080 59.94i</u>
		29.97p	1920x1080 29.97PsF
		23.98p	1920x1080 23.98PsF
	1920x1080	59.94p	1920x1080 59.94p, <u>1920x1080 59.94i</u> , 720x480 59.94i
		59.94i	<u>1920x1080 59.94i</u> , 720x480 59.94i
		29.97p	<u>1920x1080 29.97PsF</u> , 720x480 59.94i
		23.98p	<u>1920x1080 23.98p</u> , 720x480 59.94i
	1280x720	59.94p	<u>1280x720 59.94p</u> , 720x480 59.94i
	720x480	59.94i	720x480 59.94i
	50.00Hz	3840x2160	50.00p
25.00p			1920x1080 25.00PsF
1920x1080		50.00p	1920x1080 50.00p, <u>1920x1080 50.00i</u> , 720x576 50.00i
		50.00i	<u>1920x1080 50.00i</u> , 720x576 50.00i
		25.00p	<u>1920x1080 25.00PsF</u> , 720x576 50.00i
1280x720		50.00p	<u>1280x720 50.00p</u> , 720x576 50.00i
720x576		50.00i	720x576 50.00i

## 6-4. 外部出力時の出力解像度一覧(HDMI)

次の設定の組み合わせでHDMI端子から出力可能なフォーマットが変化します。

MENU > システム > システム周波数

MENU > システム > 記録フォーマット

MENU > 映像出力/LCD/VF > HDMI出力 > 出力フォーマット

システム周波数	項目		出力フォーマット ( __ は工場出荷設定)
	記録フォーマット		
	解像度	周波数	
59.94Hz	3840x2160	59.94p	3840x2160 59.94p, 3840x2160 59.94p (4:2:0/8bit), 1920x1080 59.94p, 1920x1080 59.94i
		29.97p	3840x2160 29.97p, 1920x1080 29.97p
		23.98p	3840x2160 23.98p, 1920x1080 23.98p
	1920x1080	59.94p	1920x1080 59.94p, 1920x1080 59.94i
		59.94i	1920x1080 59.94i
		29.97p	1920x1080 29.97p
		23.98p	1920x1080 23.98p
	1280x720	59.94p	1280x720 59.94p
	720x480	59.94i	720x480 59.94p
	50.00Hz	3840x2160	50.00p
25.00p			3840x2160 25.00p, 1920x1080 25.00p
1920x1080		50.00p	1920x1080 50.00p, 1920x1080 50.00i
		50.00i	1920x1080 50.00i
		25.00p	1920x1080 25.00p
1280x720		50.00p	1280x720 50.00p
720x576	50.00i	720x576 50.00p	

## 6-5. ストリーミングフォーマット(RTMP 形式)について

本機のネットワークストリーミング機能を用いて出力できるフォーマットを以下に示します。  
本項目は以下のメニュー項目で選択が可能。

MENU > ネットワーク > ストリーミング > ストリーミングフォーマット

項目		出力フォーマット ( __ は工場出荷設定)
ファイルフォーマット	記録フォーマット	
MOV	UHD	設定できません
	1080/50p	1920x1080-50fps 24M, 1920x1080-50fps 20M, 1920x1080-50fps 16M, 1280x720-50fps 14M, 1280x720-50fps 8M, 1280x720-50fps 3M, 640x360-25fps 4M, 640x360-25fps 1.5M, 640x360-25fps 0.7M, 320x180-25fps 4M, 320x180-25fps 1.5M, 320x180-25fps 0.5M
	1080/59.94p	1920x1080-60fps 24M, 1920x1080-60fps 20M, 1920x1080-60fps 16M, 1280x720-60fps 14M, 1280x720-60fps 8M, 1280x720-60fps 3M, 640x360-30fps 4M, 640x360-30fps 1.5M, 640x360-30fps 0.7M, 320x180-30fps 4M, 320x180-30fps 1.5M, 320x180-30fps 0.5M
	1080/50i 1080/25p	1920x1080-25fps 14M, 1920x1080-25fps 6M, 1920x1080-25fps 1M, 1280x720-25fps 8M, 1280x720-25fps 2M, 1280x720-25fps 1M, 640x360-25fps 4M, 640x360-25fps 1.5M, 640x360-25fps 0.7M, 320x180-25fps 4M, 320x180-25fps 1.5M, 320x180-25fps 0.5M
	1080/59.94i 1080/29.97p	1920x1080-30fps 14M, 1920x1080-30fps 6M, 1920x1080-30fps 1M, 1280x720-30fps 8M, 1280x720-30fps 2M, 1280x720-30fps 1M, 640x360-30fps 4M, 640x360-30fps 1.5M, 640x360-30fps 0.7M, 320x180-30fps 4M, 320x180-30fps 1.5M, 320x180-30fps 0.5M
	1080/23.98p	1920x1080-24fps 14M, 1920x1080-24fps 6M, 1920x1080-24fps 1M
AVCHD	全て	設定できません

## 6-5. ストリーミングフォーマット(RTMP 形式)について(つづき)

本機のネットワークストリーミング機能を用いて出力できるフォーマットを以下に示します。  
本項目は以下のメニュー項目で選択が可能。

MENU > ネットワーク > ストリーミング > ストリーミングフォーマット

項目		出力フォーマット ( __ は工場出荷設定)
ファイルフォーマット	記録フォーマット	
P2	1080/50p	1920x1080-50fps 24M, 1920x1080-50fps 20M, 1920x1080-50fps 16M, 1280x720-50fps 14M, 1280x720-50fps 8M, 1280x720-50fps 3M, 640x360-25fps 4M, 640x360-25fps 1.5M, 640x360-25fps 0.7M, 320x180-25fps 4M, 320x180-25fps 1.5M, 320x180-25fps 0.5M
	1080/59.94p	1920x1080-60fps 24M, 1920x1080-60fps 20M, 1920x1080-60fps 16M, 1280x720-60fps 14M, 1280x720-60fps 8M, 1280x720-60fps 3M, 640x360-30fps 4M, 640x360-30fps 1.5M, 640x360-30fps 0.7M, 320x180-30fps 4M, 320x180-30fps 1.5M, 320x180-30fps 0.5M
	1080/50i 1080/25p	1920x1080-25fps 14M, 1920x1080-25fps 6M, 1920x1080-25fps 1M, 1280x720-25fps 8M, 1280x720-25fps 2M, 1280x720-25fps 1M, 640x360-25fps 4M, 640x360-25fps 1.5M, 640x360-25fps 0.7M, 320x180-25fps 4M, 320x180-25fps 1.5M, 320x180-25fps 0.5M
	1080/60i 1080/29.97p	1920x1080-30fps 14M, 1920x1080-30fps 6M, 1920x1080-30fps 1M, 1280x720-30fps 8M, 1280x720-30fps 2M, 1280x720-30fps 1M, 640x360-30fps 4M, 640x360-30fps 1.5M, 640x360-30fps 0.7M, 320x180-30fps 4M, 320x180-30fps 1.5M, 320x180-30fps 0.5M
	720/59.94p	1280x720-60fps 14M, 1280x720-60fps 8M, 1280x720-60fps 3M, 640x360-30fps 4M, 640x360-30fps 1.5M, 640x360-30fps 0.7M, 320x180-30fps 4M, 320x180-30fps 1.5M, 320x180-30fps 0.5M
	720/50.00p	1280x720-50fps 14M, 1280x720-50fps 8M, 1280x720-50fps 3M, 640x360-25fps 4M, 640x360-25fps 1.5M, 640x360-25fps 0.7M, 320x180-25fps 4M, 320x180-25fps 1.5M, 320x180-25fps 0.5M

## 6-6. ストリーミングフォーマット(NDI | HX 形式)について

本機のNDIネットワークストリーミング機能を用いて出力できるフォーマットを以下に示します。  
本項目は以下のメニュー項目で選択が可能。

MENU > ネットワーク > NDI | HX > ストリーミングフォーマット

項目		出力フォーマット ( __ は工場出荷設定)
ファイルフォーマット	記録フォーマット	
MOV	UHD	設定できません
	1080/50p	1920x1080-50fps 24M, 1920x1080-50fps 16M, <u>1920x1080-50fps 10M</u> , 1920x1080-50fps 8M, 1280x720-50fps 14M, 1280x720-50fps 10M, 1280x720-50fps 6M
	1080/59.94p	1920x1080-60fps 24M, 1920x1080-60fps 16M, <u>1920x1080-60fps 10M</u> , 1920x1080-60fps 8M, 1280x720-60fps 14M, 1280x720-60fps 10M, 1280x720-60fps 6M
	1080/50i 1080/25p	1920x1080-25fps 14M, <u>1920x1080-25fps 10M</u> , 1920x1080-25fps 6M, 1280x720-25fps 8M, 1280x720-25fps 4M, 1280x720-25fps 2M
	1080/60i 1080/29.97p	1920x1080-30fps 14M, <u>1920x1080-30fps 10M</u> , 1920x1080-30fps 6M, 1280x720-30fps 8M, 1280x720-30fps 4M, 1280x720-30fps 2M
	1080/23.98p	設定できません
AVCHD	全て	設定できません
P2	1080/50p	1920x1080-50fps 24M, 1920x1080-50fps 16M, <u>1920x1080-50fps 10M</u> , 1920x1080-50fps 8M, 1280x720-50fps 14M, 1280x720-50fps 10M, 1280x720-50fps 6M
	1080/59.94p	1920x1080-60fps 24M, 1920x1080-60fps 16M, <u>1920x1080-60fps 10M</u> , 1920x1080-60fps 8M, 1280x720-60fps 14M, 1280x720-60fps 10M, 1280x720-60fps 6M
	1080/50i 1080/25p	1920x1080-25fps 14M, <u>1920x1080-25fps 10M</u> , 1920x1080-25fps 6M, 1280x720-25fps 8M, 1280x720-25fps 4M, 1280x720-25fps 2M
	1080/59.94i 1080/29.97p	1920x1080-30fps 14M, <u>1920x1080-30fps 10M</u> , 1920x1080-30fps 6M, 1280x720-30fps 8M, 1280x720-30fps 4M, 1280x720-30fps 2M
	720/59.94p	1280x720-60fps 14M, <u>1280x720-60fps 10M</u> , 1280x720-60fps 6M
	720/50.00p	1280x720-50fps 14M, <u>1280x720-50fps 10M</u> , 1280x720-50fps 6M

## 6-7. エラー、ワーニングシステム

異常が検出されると液晶モニターやタリーランプなどで異常発生を知らせます。

## システムエラー

画面表示	内容	動作と対応
カメラ映像画面		
[システムエラー]	基準信号の異常や通信異常が発生しました。	全てのタリーランプとカードアクセスランプ（オレンジ色）が1秒間に4回点滅し、アラーム音が鳴ります。 ●電流をく（  ）（スタンバイ）にしてください。

## ワーニング

画面表示	内容	動作と対応
カメラ映像画面		
[バッテリー残量がありません]	バッテリー残量が不足しています。	全てのタリーランプとカードアクセスランプ（オレンジ色）が1秒間に4回点滅し、アラーム音が鳴ります。 電源状態表示は  になり、1秒間に1回、赤色で点滅します。 ●約5秒後に電源が切れます。 ●充電済みのバッテリーに交換、またはACアダプターを接続してください。
[高温異常が発生しました]	本体の内部温度が想定以上に上昇したときに、表示します。	全てのタリーランプとカードアクセスランプ（オレンジ色）が1秒間に4回点滅し、アラーム音が鳴ります。 ●約5秒後に電源が切れます。 ●再度、電源を入れて記録再生を確認してください。異常が続く場合は、販売店にご相談ください。
[記録異常]	記録中に記録データに異常が発生し、記録が停止しました。  記録中にクリップ数の上限を超えて記録しようとした。	全てのタリーランプとカードアクセスランプ（オレンジ色）が1秒間に4回点滅し、アラーム音が鳴ります。 ●記録が停止します。  全てのタリーランプとカードアクセスランプ（オレンジ色）が1秒間に4回点滅し、アラーム音が鳴ります。 ●記録が停止します。 ●モードチェックのSTATUS画面のワーニング表示欄に「記録異常」[<クリップ数の上限超過>]と表示されます。 ●メモリーカードを交換するか、不要なクリップを削除してください。
[カード異常<スロット1>] / [カード異常<スロット2>]	記録中、または再生中に、メモリーカードが原因でデータ異常が発生しました。	●記録中の場合 全てのタリーランプとカードアクセスランプ（オレンジ色）が1秒間に4回点滅し、アラーム音が鳴ります。 記録が停止します。 記録停止後は、エラーが発生したメモリーカードは書き込み禁止の状態になっています。エラーが発生したカードスロットのメモリーカードを交換してください。 ●再生中の場合 再生を停止します。
[END] (メモリーカードの状態表示)	記録中にメモリーカードの残量がなくなりました。	全てのタリーランプとカードアクセスランプ（オレンジ色）が1秒間に4回点滅し、アラーム音が鳴ります。 ●記録が停止します。 ●メモリーカードを交換するか、不要なクリップを削除してください。
 (1秒間に1回、赤色で点滅)	バッテリーが消耗間近です。	全てのタリーランプが1秒間に1回点滅します。 ●動作は継続します。 ●充電済みのバッテリーに交換、またはACアダプターを接続してください。
メモリーカードの記録残量表示 (記録中に1秒間に1回点滅)	メモリーカードの残量が少なくなっています。	●記録は継続します。 ●必要に応じて、メモリーカードを交換してください。

## 6-7. エラー、ワーニングシステム(つづき)

## アラート

画面表示	内容	動作と対応
カメラ映像画面 [サイマル記録異常<スロット1>] /[サイマル記録異常<スロット2>]	サイマル記録中に、片方のメモリーカードに異常が発生しました。	メッセージを約5秒間表示します。 ●もう一方のメモリーカードの記録は継続します。
[サイマル記録異常<スロット1>] /[サイマル記録異常<スロット2>]	サイマル記録中に、片方のメモリーカードにクリップ数の上限を超えて記録しようとしたため。	メッセージを約5秒間表示します。 ●もう一方のメモリーカードの記録は継続します。 ●モードチェックのSTATUS画面のワーニング表示欄に「[サイマル記録異常<スロット1>]」[<クリップ数の上限超過>] / 「[サイマル記録異常<スロット2>]」[<クリップ数の上限超過>]と表示されます。 ●メモリーカードを交換するか、不要なクリップを削除してください。
[バックグラウンド記録異常<スロット1>] /[バックグラウンド記録異常<スロット2>]	バックグラウンド記録中に、片方のメモリーカードに異常が発生しました。	メッセージを約5秒間表示します。 ●もう一方のメモリーカードの記録は継続します。
[バックグラウンド記録異常<スロット1>] /[バックグラウンド記録異常<スロット2>]	バックグラウンド記録中に、片方のメモリーカードにクリップ数の上限を超えて記録しようとしたため。	メッセージを約5秒間表示します。 ●もう一方のメモリーカードの記録は継続します。 ●モードチェックのSTATUS画面のワーニング表示欄に「[バックグラウンド記録異常<スロット1>]」[<クリップ数の上限超過>] / 「[バックグラウンド記録異常<スロット2>]」[<クリップ数の上限超過>]と表示されます。 ●メモリーカードを交換するか、不要なクリップを削除してください。
[ファンが停止しました]	ファンが停止しました。	メッセージを表示します。 ●動作は継続します。 ●ファンが停止した場合は、速やかに使用を中止し、販売店にご相談ください。 ●ファンが停止した場合は、本機の温度が上昇しますので、長時間使用しないでください。
[カードを確認してください<スロット1>] /[カードを確認してください<スロット2>]	非対応の記録メディアが挿入されていたり、メモリーカードの端子が汚れていたりしているため、メモリーカードを正常に認識できません。	メッセージを約5秒間表示します。 ●挿入したメモリーカードを確認してください。 ●メモリーカードを挿入したときに表示された場合は、メモリーカードを挿入しなおしてください。
[規格外カード<スロット1>] /[規格外カード<スロット2>]	管理情報が規格外のメモリーカードが挿入されています。(メモリーカードのAVCHDフォーマットにおけるシステム周波数(59.94 Hz系または50.00 Hz系)が、[システム]メニュー→[システム周波数]の設定と異なる場合を含む)	メッセージを約5秒間表示します。 ●記録可能なメモリーカードを挿入してください。 ●AVCHDフォーマットにおけるシステム周波数の情報は、フォーマット時、または最初の記録時に確定されます。
[非SDXCカード<スロット1>] /[非SDXCカード<スロット2>]	[ファイルフォーマット]をMOV形式に設定しているときに、MOV形式のデータが記録できないSDHCメモリーカード、または32GBのmicroP2カードが挿入されています。	メッセージを約5秒間表示します。 ●SDXCメモリーカード、または64GBのmicroP2カードを挿入してください。
[書き込み速度不足カード<スロット1>] /[書き込み速度不足カード<スロット2>]	書き込み速度が遅いため、記録できなくなる可能性があるメモリーカードが挿入されています。	メッセージを約5秒間表示します。 ●動作は継続します。 ●書き込み可能速度が十分に速いメモリーカードをお使いください。
[バックアップ電池の残量がありません]	電源を<   >(入)にしたときに、内蔵時計のバックアップ電池の電圧低下を検出しました。	メッセージを約5秒間表示します。 ●動作は継続します。 ●内蔵電池を充電したあと、日付/時刻を設定してください。

## 6-7. エラー、ワーニングシステム(つづき)

## メッセージ

画面表示	内容	動作と対応
[再生できません。]	再生できないクリップです。 (システム周波数の違いなどのために再生できない場合) 再生中に異常が発生し、再生が停止しました。	メッセージを表示します。 ●クリップのシステム周波数と本機のシステム周波数が合っているか確認してください。 ●クリップを確認してください。
[削除できません。]	削除できないクリップです。	メッセージを表示します。 ●機器とコンテンツのバージョンを合わせてください。
[クリップ数がいっぱいで記録できません。]	記録できるクリップ数が上限に達しています。	メッセージを表示します。 ●メモリーカードを交換するか、不要なクリップを削除してください。
[フォーマット失敗しました。このカードは再フォーマットが必要です。]	メモリーカードのフォーマットに失敗しました。	メッセージを表示します。 ●再度、フォーマットしてください。
[クリップの修復に失敗しました。]	記録中の電源の遮断、またはメモリーカードの取り出しによって、エラーが発生したクリップの修復に失敗しました。管理情報の修復に失敗しました。	メッセージを表示します。 ●メモリーカードを確認してください。
[フォーマットできません。]	フォーマットできないメモリーカードです。	メッセージを表示します。 ●メモリーカードを確認してください。
[バッテリー残量が少ないため管理情報のエラーを修復できません。]	バッテリー残量が不足しているため、管理情報を修復できません。	メッセージを表示します。 ●充電済みのバッテリーに交換、または AC アダプターを接続してください。
[プロテクトできません。]	プロテクトできないクリップです。	メッセージを表示します。 ●機器とコンテンツのバージョンを合わせてください。
[クリップがプロテクトされています。プロテクトを解除してください。]	クリップがプロテクトされているため、削除できません。	メッセージを表示します。 ●クリップのプロテクトを解除してください。
[トップメニューがあるため、消去できません。 トップメニューを消去しますか？ (記録データは消去されません。)]	トップメニューが作成されたメモリーカードのクリップを削除しようとしています。	メッセージを表示します。 ●トップメニューを削除してください。
[トップメニューがあるため、撮影できません。 トップメニューを消去しますか？ (記録データは消去されません。)]	トップメニューが作成されたメモリーカードが挿入されています。	メッセージを表示します。 ●トップメニューを削除してください。
[サムネイル情報にエラーを検出しました。]	メモリーカードのサムネイル情報にエラーが発生しました。	メッセージを表示します。 ●このあと、管理情報の修復を自動で行います。
[データの規格が異なるため記録できません。]	メモリーカードの管理情報が非対応のバージョンです。	メッセージを表示します。 ●機器とコンテンツのバージョンを合わせてください。
[設定できません。]	設定できません。	メッセージを表示します。 ●設定可能な状態にしてから設定してください。
[このクリップはコピーできません。]	クリップがコピーできません。	メッセージを表示します。 ●該当のクリップ以外をコピーしてください。
[管理情報にエラーを検出しました。(SD カード)]	メモリーカードの管理情報にエラーが発生しました。	メッセージを表示します。 ●このあと、管理情報の修復を自動で行います。
[コピーに失敗しました。カードを確認してください。]	メモリーカードのエラーのため、クリップのコピーに失敗しました。	メッセージを表示します。 ●メモリーカードを確認してください。
[バッテリー残量が少ないためコピーを中断しています。電源を切らないでください。]	クリップのコピー中に、バッテリー残量が少なくなりました。	メッセージを表示します。 ●コピーは中断します。 ●充電済みのバッテリーに交換、または AC アダプターを接続してください。
[バッテリー残量が少ないためコピーを中断しました。]	バッテリー残量が不足しているため、クリップのコピーが中断されました。	メッセージを表示します。 ●充電済みのバッテリーに交換、または AC アダプターを接続してください。
[クリップ数がいっぱいでコピーできません。]	コピーできるクリップ数が上限に達しています。	メッセージを表示します。 ●コピー先のメモリーカードを交換するか、不要なクリップを削除してください。

## 6-7. エラー、ワーニングシステム(つづき)

## メッセージ

画面表示	内容	動作と対応
カメラ映像画面 [バッテリー残量がありません。ACアダプターを接続するかバッテリーをとりかえてください。]	バッテリー残量が不足している状態で、クリップのコピーまたは本機のリファームウェアのアップデートをしようとしています。	メッセージを表示します。 ● 充電満みのバッテリーに交換、または AC アダプターを接続してください。
[このクリップは本機では再生できません。]	本機で再生できないクリップです。	メッセージを表示します。 ● 再生可能な機器で再生してください。
[他機器で記録されたクリップが含まれているためコピーできません。]	ほかの機器で記録されたクリップはコピーできません。	メッセージを表示します。 ● 該当のクリップ以外をコピーしてください。
[エラーを検出しました。管理情報を修復しますので、ACアダプターを接続するかバッテリーをとりかえてください。]	管理情報の修復開始時に、バッテリー残量が少なくなっていました。	メッセージを表示します。 ● 充電満みのバッテリーに交換、または AC アダプターを接続してください。
[無効]	操作が無効です。	メッセージを表示します。 ● 操作が有効な状態になったら、操作してください。
[プレイリストがいっぱいで記録できません。]	記録できるプレイリスト数が上限に達しているメモリーカードに記録しようとしていました。	メッセージを表示します。 ● メモリーカードを交換するか、不要なクリップを削除してください。
[プレイリスト数がいっぱいでもコピーできません。]	記録できるプレイリスト数が上限に達しているメモリーカードにコピーしようとしていました。	メッセージを表示します。 ● メモリーカードを交換するか、不要なクリップを削除してください。
[コピー先の容量がたりません。選択しなおしてください。]	コピー先のメモリーカードの記録残量が不足しています。	メッセージを表示します。 ● コピーするクリップを選択し直すか、コピー先のメモリーカードに十分な記録残量を確保してください。
[コピー先メディアを確認してください。]	コピー中に、コピー先のメモリーカードにエラーが発生しました。	メッセージを表示します。 ● コピー先のメモリーカードを確認してください。
[シーンファイルの読み込みに失敗しました。]	シーンファイルの読み込みに失敗しました。	メッセージを表示します。 ● メモリーカードを確認してください。
[シーンファイルの書き込みに失敗しました。]	シーンファイルの書き込みに失敗しました。	メッセージを表示します。 ● メモリーカードを確認してください。

## 6-8. 付属品、純正アクセサリ品番のご紹介

下記部品はサービスパーツとしてお求めいただけます。カメラを購入された販売店またはパナソニック製品の修理サービス取扱店へお問合せください。

### 付属品

マイクホルダー  
(注文品番: 1YP1PX270T8Z)



アイカップ  
(注文品番: SYA0048)

レンズフード  
(注文品番: 6YP4AGCX350Z)



  
アクセサリ取付ネジ  
(M3 ネジ、長さ 6mm)  
(注文品番: XSB3+6FJK)

グリップベルト (注文品番: SYQ0833)

AC アダプター	AC コード	ショルダーベルト
		
注文品番: SAE0011AJ	注文品番: K2CA2YY00247	注文品番: VFC4897

\* 部品の外観、品番は予告なく変更する場合がございます。予めご了承ください。

下記製品は純正アクセサリとしてお求めいただけます。カメラを購入された販売店へお問合せください。

**AG-CX350 純正アクセサリ****バッテリーパック(AG-VBR シリーズは AG-BRD50 による急速充電に対応)**

**AG-VBR118G**  
(11,800mAh)



**AG-VBR89G**  
(8,850mAh)



**AG-VBR59**  
(5,900mAh)



**VW-VBD58**  
(5,800mAh)

**バッテリーチャージャー**

**AG-BRD50**  
(VBR シリーズバッテリー用急速充電機能付)

**XLR マイクロフォン**

**AJ-MC200G**  
(+48V 対応, XLR 端子)

\* 製品の的外観、品番は予告なく変更する場合がございます。予めご了承ください。

## 6-9. 定格

総合	
電源:	DC 7.28 V(バッテリー使用時) DC 12 V(AC アダプター使用時)
消費電力:	17 W(液晶モニター使用時) 11.5 W(1080i/422ALL-I 100M 記録で液晶モニターを使用、外部機器接続なし)
動作周囲温度:	0 °C ~ 40 °C
動作周囲湿度:	10 % ~ 80 %(結露なし)
質量:	本体: 約 1.9 kg(本体のみ、レンズフード、バッテリーおよび付属品を除く) 撮影時: 約 2.3 kg(レンズフード、付属のバッテリー、マイクホルダーを含む)
外形寸法:	180 mm(幅) × 173 mm(高さ) × 311 mm(奥行)(アイカップ、突起部を除く)
カメラ部	
撮像素子:	1.0 型 MOS 個体撮像素子
画素数:	有効画素数: 約 1,503 万画素
レンズ:	光学式手ぶれ補正レンズ、光学 20 倍電動ズーム F 値: F2.8—F4.5 焦点距離: f=8.8 mm—176 mm 35 mm 換算: 24.5 mm—490 mm フィルター径: 67 mm ND フィルター: Clear、1/4、1/16、1/64 IR フィルター: ON/OFF 切替 最短撮影距離(M.O.D.): 前球より約 10 cm(ワイド端)/1.0 m(テレ端)
ゲイン切替:	L/M/H 切替スイッチ -3 dB ~ 18 dB、1dB ステップ (USER ボタン S.GAIN 割り当て 24 dB、30 dB、36 dB 切替)  メニュー > スイッチ > ゲイン/ISO モード > ISO の時(*) ISO400、ISO500、ISO640、ISO800、ISO1000、ISO1250、ISO1600、ISO2000、 ISO2500、ISO3200、ISO4000、ISO5000、ISO6400、ISO8000、ISO10000、ISO12800  *ゲイン/ISO モードを ISO に設定するには、本機のカラーモードを V-Log に設定する必要があります。(メニュー > システム > カラー > V-Log)
色温度切替:	ATW、ATW LOCK、Ach、Bch、 プリセット 3200 K/プリセット 5600 K/VAR(2000 K ~ 15000 K)

## カメラ部(つづき)

シャッター速度:	<p>システム周波数= 59.94 Hz 59.94i/59.94p モード: 1/60 秒(シャッターオフ)、1/100 秒、1/120 秒、1/250 秒、1/500 秒、1/1000 秒、 1/2000 秒、1/4000 秒、1/8000 秒、1/10000 秒 29.97p モード: 1/30 秒、1/50 秒(シャッターオフ)、1/60 秒、1/100 秒、1/120 秒、1/250 秒、1/500 秒、1/1000 秒、1/2000 秒、1/4000 秒、1/8000 秒、1/10000 秒 23.98p モード: 1/24 秒、1/48 秒、1/50 秒(シャッターオフ)、1/60 秒、1/100 秒、1/120 秒、1/250 秒、1/500 秒、1/1000 秒、1/2000 秒、1/4000 秒、1/8000 秒、1/10000 秒 システム周波数= 50.00 Hz 50i/50p モード: 1/50 秒(シャッターオフ)、1/60 秒、1/100 秒、1/120 秒、1/250 秒、1/500 秒、 1/1000 秒、1/2000 秒、1/4000 秒、1/8000 秒、1/10000 秒 25p モード: 1/25 秒、1/50 秒(シャッターオフ)、1/60 秒、1/100 秒、1/120 秒、1/250 秒、1/500 秒、1/1000 秒、1/2000 秒、1/4000 秒、1/8000 秒、1/10000 秒</p>
シャッター速度 (スローシャッター)	<p>システム周波数= 59.94 Hz 59.94i/59.94p モード: 1/1 秒、1/2 秒、1/4 秒、1/6 秒、1/15 秒、1/30 秒 29.97p モード: 1/1 秒、1/2 秒、1/4 秒、1/6 秒、1/15 秒 23.98p モード: 1/1 秒、1/2 秒、1/4 秒、1/6 秒、1/12 秒 システム周波数= 50.00 Hz 50i/50p モード: 1/1 秒、1/2 秒、1/4 秒、1/6 秒、1/12 秒、1/25 秒 25p モード: 1/1 秒、1/2 秒、1/4 秒、1/6 秒、1/12 秒</p>
シャッター速度 (シンクロスキャン)	<p>システム周波数= 59.94 Hz 59.94i/59.94p モード: 1/60.0 秒 ~ 1/7200 秒 29.97p モード: 1/30.0 秒 ~ 1/7200 秒 23.98p モード: 1/24.0 秒 ~ 1/7200 秒 システム周波数= 50.00 Hz 50i/50p モード: 1/50.0 秒 ~ 1/7200 秒 25p モード: 1/25.0 秒 ~ 1/7200 秒</p>
シャッター 開角度:	3.0 deg ~ 180.0 deg ~ 360.0 deg(0.5 deg ステップ、角度表示)
VFR 記録 フレームレート:	<p>システム周波数= 59.94 Hz 1、2、4、6、9、12、15、18、20、21、22、24、25、26、27、28、30、32、34、36、40、44、 48、54、60 (fps) システム周波数= 50.00 Hz 1、2、4、6、9、12、15、18、20、21、22、23、24、25、26、27、28、30、32、34、37、42、 45、48、50 (fps)</p>

## カメラ部(つづき)

スーパースロー記録:	システム周波数= 59.94 Hz 1920 × 1080 (FHD): 撮影フレームレート 120 fps システム周波数= 50.00 Hz 1920 × 1080 (FHD): 撮影フレームレート 100 fps
感度:	[高感度] モード F12(2000 lx、3200 K、89.9%反射、2160/59.94p、1080/59.94i) F13(2000 lx、3200 K、89.9% 反射、2160/50p、1080/50i)
水平解像度:	2000TV 本以上(UHD: 画面中心にて) 1000TV 本以上(FHD: 画面中心にて)
iズーム	× 32 (FHD)、× 24 (UHD)
デジタルズーム:	× 2 / × 5 / × 10
レンズフード:	レンズカバー付きフード

## メモリーカードレコーダー部

記録メディア:	SDHC メモリーカード(4 GB ~ 32 GB) SDXC メモリーカード(32 GB 超 ~ 128 GB) UHS-1/UHS-II UHS Speed Class3 対応、Video Speed Class V90 対応 microP2 カード(A シリーズ、B シリーズ) * SDXC メモリーカードへ P2 形式で記録することは可能ですが、サポート対象外(緊急記録用の位置づけ)になります。
記録スロット:	microP2/SDXC UHS-II カードスロット×2
記録画素数:	3840 × 2160(UHD)、1920 × 1080(FHD)、1280 × 720(HD)、720 × 480 (SD)、720 × 576(SD)、1440x1080 (AVC-Intra50)、960x720 (AVC-Intra50)
システム周波数:	59.94 Hz/50.00 Hz
記録ファイル形式:	P2(P2 MXF 対応)、MOV (HEVC)、MOV (AVC)、AVCHD
記録フォーマット:	P2: AVC-Intra422、AVC-LongG50、AVC-LongG25、AVC-LongG12 MOV 4:2:0 10bit: HEVC LongGop 200M、HEVC LongGop 100M、HEVC LongGop 50M MOV 4:2:0 8bit: 420 LongGop 150M、420 LongGop 100M MOV 4:2:2 10bit: 422 LongGop 150M、422 LongGop 100M、422 LongGop 50M AVCHD: PS、PH、HA、PM、SA
2 スロット機能:	リレー記録、サイマル記録、バックグラウンド記録
特殊記録機能:	プリレック、インターバル記録、タイムスタンプ記録

デジタルビデオ	
量子化:	P2: 4:2:2 10bit, 4:2:0 8bit (AVC-LongG12), 4:2:0 10 bit (AVC-Intra50) MOV: 4:2:2 10 bit, 4:2:0 8 bit, 4:2:0 10 bit (HEVC) AVCHD: 4:2:0 8 bit
映像圧縮方式:	P2: AVC-Intra422, AVC-LongG50, AVC-LongG25, AVC-LongG12, MPEG-4 AVC/H.264 Intra Profile MOV: H.264/MPEG-4 AVC High Profile, H.265/MPEG-H HEVC Main10 Profile AVC-Intra200, Intra100, Intra50: MPEG-4 AVC/H.264 Intra Profile
デジタルオーディオ	
音声記録方式:	P2: 48 kHz/24 bit, 4 ch, Linear PCM (AVC-Intra100/50 は 24/16bit の切り替えがメニューで可能) MOV: 48 kHz/24 bit, 4 ch, Linear PCM AVCHD: 48 kHz/16 bit, 2 ch, Dolby Audio™
ヘッドルーム:	12 dB/18 dB/20 dB (メニューにて切り替え)
ライブストリーミング	
ビデオ圧縮方式:	H.264/MPEG-4 AVC Main Profile, H.264/MPEG-4 AVC High Profile
オーディオ圧縮方式:	AAC-LC: 48KHz/16bit 2ch
対応プロトコル:	RTSP/RTP/RTMP/RTMPS
ビデオ出力	
SDI OUT:	BNC × 1、SDI REC REMOTE 対応 HD: 0.8 V [p-p]、75 Ω SD: 0.8 V [p-p]、75 Ω 出力フォーマット(4:2:2 10 bit): ・1920 × 1080: 59.94p、50p、59.94i、50i、29.97Psf、25Psf、23.98Psf ・1280 × 720: 59.94p、50p ・720 × 480: 59.94i、720 × 576: 50i
HDMI:	HDMI × 1、TypeA、HDMI REC REMOTE 対応、ピエラリンク非対応 出力フォーマット(4:2:2 10 bit): ・3840 × 2160: 59.94p、50p、29.97p、25p、23.98p ・1920 × 1080: 59.94p、50p、59.94i、50i、29.97p、25p、23.98p ・1280 × 720: 59.94p、50p ・720 × 480: 59.94p、720 × 576: 50p
VIDEO OUT:	3.5mm 径ミニジャック、コンポジット 1.0V[p-p]、75 Ω

## オーディオ入出力

内蔵マイク:	ステレオマイク
INPUT1/2:	XLR(3ピン) × 2(INPUT1/2)、入力ハイインピーダンス、 LINE/MIC/MIC +48 V(SW 切替) MIC: -40 dBu/-50 dBu/-60 dBu(メニュー切替) LINE: 4 dBu/0 dBu(メニュー切替)
SDI OUT:	Linear PCM 4 ch
HDMI:	Linear PCM 2 ch
ヘッドホン:	3.5 mm 径 ステレオミニジャック × 1
AV OUT:	3.5 mm 径 ステレオミニジャック × 1、出力レベル: 600 Ω、316 mV
スピーカー:	20 mm 径、丸型 × 1

## その他の入出力

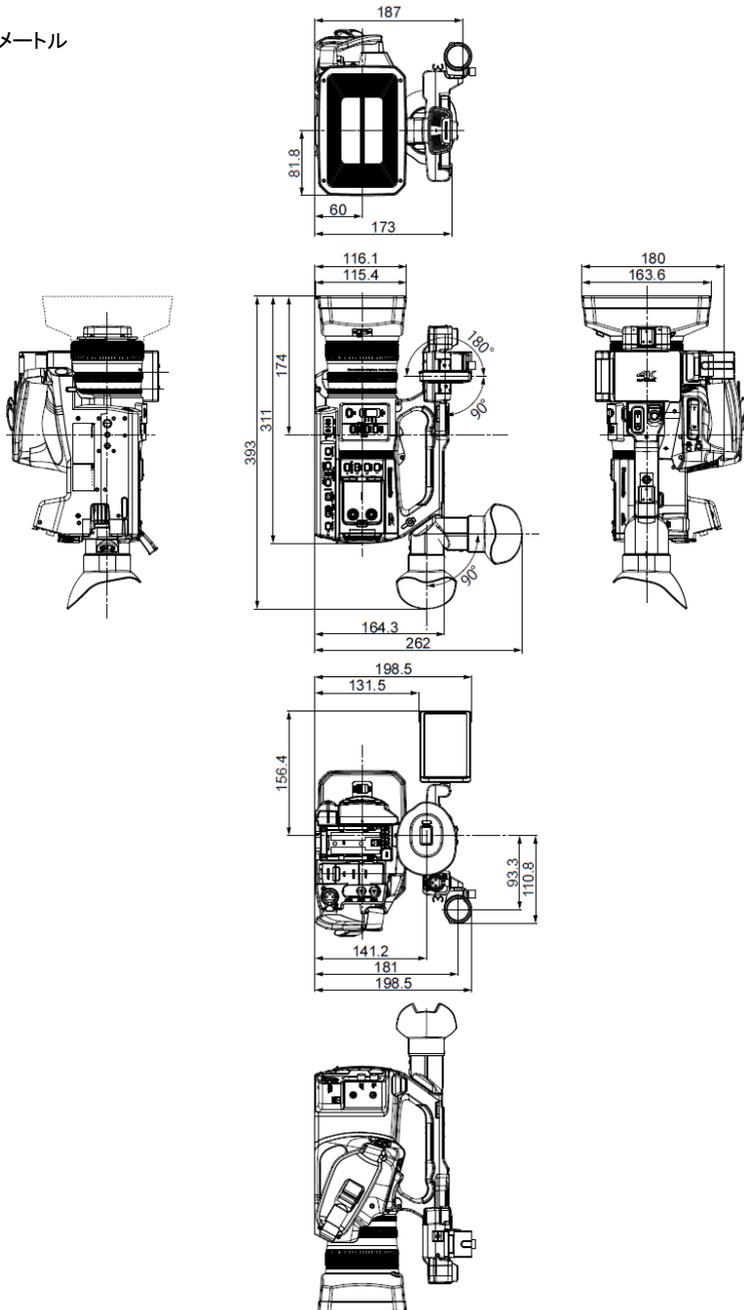
TC IN/OUT:	BNC x1 for IN/OUT 兼用(メニュー切替) IN: 1.0 V [p-p] — 4.0 V [p-p]、10 kΩ OUT: 2.0 V [p-p] ±0.5 V [p-p]、ローインピーダンス
REMOTE:	2.5 mm 径 スーパーミニジャック
LAN:	RJ-45: 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T
USB 2.0 (HOST):	Type-A、4-pin(5 V、0.5 A) ワイヤレスモジュール(別売オプション)用
USB 3.0 (DEVICE):	USB 3.1 GEN1 Type-C、USB マスストレージ機能、USB バスパワー機能無し
DC IN 12 V:	DC 12 V EIAJ Type 4

## モニター/ビューファインダー

LCD モニター:	3.2 型 TFTLCD カラーモニター(3:2)、約 1,620,000 ドット、タッチパネル 映像表示(16:9)エリア: 約 1,370,000 ドット
ビューファインダー:	0.39 型 OLED(有機 EL ディスプレイ)、約 2,360,000 ドット、 映像表示(16:9)エリア: 約 1,770,000 ドット

## 6-10. 外形寸法

単位:ミリメートル



**改訂履歴**

版数 (発行年月)	改訂履歴	本誌バージョン
2019 年 11 月	初版発行	V1.00J
2020 年 06 月	本体ファームウェアバージョン 3.0 の内容を反映	V3.00J
2020 年 07 月	Panasonic 製マイクロフォン AG-MC200G 装着時の推奨感度設定(P.16) を変更(-40dB → -50dB)。	V3.01J

# Panasonic

パナソニック株式会社  
コネクティッドソリューションズ社 メディアエンターテインメント事業部

ファームウェアダウンロード、よくあるご質問の確認は  
[https://panasonic.biz/cns/sav/pass\\_j](https://panasonic.biz/cns/sav/pass_j)